

令和5年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
	(参考)第六次釜石市総合計画※抜粋	2
II	教育委員会の活動	3
1	教育委員会議	
2	総合教育会議	
3	会議以外の主な活動	
III	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果	4
1	点検・評価の基準	
2	点検・評価の体系	
3	点検・評価の結果	
	基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成	
	実施施策 (1)生きる力を育む学校教育の充実	5
	基本施策 2 子どもを育む環境づくり	
	実施施策 (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	18
	(2)教育環境の充実とさらなる向上	27
	基本施策 3 生涯学習・スポーツの振興	
	実施施策 (1)学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成	49
	(2)豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	58
	基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興	
	実施施策 (1)歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進	59
	(2)橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信	69
	「令和5年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」有識者 からの意見聴取会意見(要点)	74

I はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、令和 5 年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検並びに評価結果を取りまとめたものです。
点検及び評価に当たっては、令和 3 年 3 月策定の「第六次釜石市総合計画」の基本目標 4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づいて整理しました。
- 事業は、教育委員会の事務及び市長部局が補助執行している教育委員会の事業（釜石市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成 29 年釜石市教育委員会規則第 2 号）第 2 条）を範囲とし、「第六次釜石市総合計画」の実施計画に掲載された事業、令和 5 年度における主要事業等を対象としました。
- 評価は、担当課において対象事業の自己評価を行い、その評価の内容、妥当性等について学識経験者の知見の活用を図り二次評価しました。

釜石市教育委員会委員名簿

委 員	佐 野 茂 樹
委 員	中 田 義 仁
委 員	佐々木 ひづる
委 員	花 輪 妙 子
教 育 長	高 橋 勝

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「第六次釜石市総合計画」※抜粋

【目指す釜石の将来像】
一人ひとりが学びあい
世界とつながり未来を創るまちかまいし
～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～

◎ 5つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標4)

基本目標1：〔保健福祉〕あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち

基本目標2：〔生活環境〕人と自然が共存し安心して暮らせるまち

基本目標3：〔産業雇用〕未来をつくる人と産業が育つまち

基本目標4：〔教育文化〕地域と人のつながりの中でみんなが育つまち

※抜粋

— 《未来を担う子どもたちの育成》

(実施施策) ○生きる力を育む学校教育の充実

— 《子どもを育む環境づくり》

(実施施策) ○地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

○教育環境の充実とさらなる向上

— 《生涯学習・スポーツの振興》

(実施施策) ○学びと実践が循環しつながり創出する生涯学習社会の形成

○豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

— 《歴史・文化・芸術文化の振興》

(実施施策) ○歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

○橋野鉄鉦山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

基本目標5：〔危機対応〕過去に学びみんなが命を守れるまち

II 教育委員会の活動

教育委員会では、教育行政の執行にあたり、5人の委員で構成される合議制の教育委員会議定例会を毎月開催するとともに、必要に応じて教育委員会議臨時会を開催し、基本方針の決定や各種議案を審議し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育の課題や方向性を共有して、連携を深めながら教育施策の協議、調整を行う場として、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を年1回開催しています。

会議以外の活動としては、教育長及び教育委員による学校訪問を行うとともに、学校の各種行事に参加することで、学校現場や教育環境等の状況把握に努めています。

1 教育委員会議（開催数）

定例会	12回
臨時会	2回
合計	14回

2 総合教育会議

第1回（令和5年12月27日）

【協議内容】

- ・第三次釜石市教育大綱の策定について
- ・釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針（案）について

3 会議以外の主な活動

(1) 学校訪問

釜石市立双葉小学校	（令和5年7月5日）
釜石市立釜石中学校	（令和5年7月12日）

(2) 学校公開研究会

釜石市立釜石小学校	（令和5年11月22日）
釜石市立唐丹小学校	（令和5年11月24日）

(3) 入学（園）式及び卒業（園）式

市内各小中学校（幼稚園）	（4月及び3月）
--------------	----------

Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果

1 点検・評価の基準

評価結果	取組内容（結果）
拡充（継続）	内容を拡充して取り組む
現 状 継 続	現状どおり継続して取り組む
縮小（継続）	内容を見直しながら継続
廃止（完了含む）	事業完了、他事業との統合

2 点検・評価の体系

個別事業の点検・評価は、「第六次釜石市総合計画」の基本目標4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づき、次の区分により整理しました。

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成

【実施施策】 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

基本施策2 子どもを育む環境づくり

【実施施策】 (1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進
(2) 教育環境の充実とさらなる向上

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

【実施施策】 (1) 学びと実践が循環しつながりをつなぐ生涯学習社会の形成
(2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

【実施施策】 (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進
(2) 橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

3 点検・評価の結果

基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成

実施施策 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

事業名	「いのちの教育」の推進・実践	令和 5 年度 決算額	382,800 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	釜石市の学校教育の目標である「強く生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における防災教育を核とした「いのちの教育」の充実を図るもの。		
取組内容	<p>各学校の「いのちの教育」担当者に対して、研修や授業支援等を行うとともに、各学校での「いのちの教育」の実践を市内各学校で共有するための実践事例集を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、教育研究所の「こころの教育研究班」と連携し研修会を年 3 回実施 ・小学校における防災教育の授業支援 ・「いのちの教育」実践事例集の作成 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>「いのちの教育」に関わる研修を行うことにより、担当者がしっかりと理解し、各校の授業実践や取り組みにつなげることができた。</p> <p>「いのちの教育」実践事例集を作成し、各校に頒布することで、それぞれの学校の取り組みの良さ等を共有することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>平成 26 年度から実践事例集の作成を続けていたが、一定の役割を果たしたことから次年度からは作成しないことで検討している。</p> <p>ただし、今後も各校での「いのちの教育」の取り組みを継続し、資質や能力の向上につながる活動にしていくため、令和 5 年度に作成した「防災教育の手引き」を活用し、「いのちの教育」の更なる充実を図る。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	外国語指導助手設置事業	令和5年度 決算額	5,176,379 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	英語によるコミュニケーション能力の向上と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するもの。		
取組内容	<p>外国語指導助手（ALT）2名による学校訪問を行い、担任が主となって授業を進める際に、児童生徒に適切な発音方法を教え、英語でコミュニケーションを図れるよう補助的な役割を担った。また、幼稚園やこども園を訪問し、幼少期においても英語に触れる機会を創出した。</p> <p>・外国語指導助手（ALT）による学校訪問回数（年間） 360回</p> <p>小学校 218回</p> <p>中学校 132回</p> <p>幼稚園・こども園 10回</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>児童生徒が英語に親しんだり、英語を適切に話したり聞いたりできるような関わりをもち、コミュニケーションを図ることの楽しさを経験する機会となっている。また、授業改善にも積極的に取り組み、教員個々の授業力の向上が図られた。</p> <p>【課題】</p> <p>訪問回数が少ないため、外国語の授業すべての時間において活用できているわけではない。小学校は特にも、1週間に1回は訪問できるよう努めていきたい。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	教育研究事業	令和5年度 決算額	714,466 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	幼稚園及び小中学校における学校課題の解決に向け取り組み、学校運営の円滑化と教育活動の充実・向上を図るもの。		
取組内容	<p>市内教育団体（釜石市小中学校長会等）に対し教育研究業務を委託し、各種課題の解決に向けた協議・研究を行った。</p> <p>公開校（釜石小学校、唐丹小学校）及び指定校（甲子小学校、唐丹中学校）を設け、学校ごとに課題を明らかにし、テーマに沿った教育研究を進めた。</p> <p>【公開校】（R4指定校、R5年度公開校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜石小学校（参加人数85名） <p>国語科に重点を置いた授業改善を通して、児童が自分の考えを自覚、形成するための発問と対話のあり方について取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 唐丹小学校（参加人数47名） <p>国語科における読む力の育成を通して、単元の構想と学習指導の工夫を図りながら、児童が自分の考えをもつための実践に取り組んでいる。</p> <p>【指定校】（R5指定校、R6年度公開(予定)校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 甲子小学校は算数科を中心に、唐丹中学校は各教科及び総合的な学習について研究に取り組み、児童生徒に力をつけるための授業づくりに取り組んでいる。 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>学校公開により、授業実践を日頃から積み重ねることで校内研究の充実が図られ、市内教職員にも共有され、意識を高めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>校内研究における実践の成果を、他教科の授業や異校種の指導でも生かし、児童生徒の資質・能力の育成を図る必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	釜石市学校文化体育振興会運営費補助金	令和5年度 決算額	1,178,400 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の健康増進及び文化体育の向上を図るもの。		
取組内容	<p>児童生徒の健康増進及び文化体育に関する事業を行う釜石市学校文化体育振興会に補助金を交付した。</p> <p><補助金の用途></p> <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県小学生陸上競技交流大会等のスポーツ大会参加費補助 ・岩手県理科研究発表会等の文化的大会参加費補助 <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県中学校総合体育大会、東北中学校総合体育大会、岩手県中学校新人大会等の中体連主催大会参加費補助 ・岩手県吹奏楽コンクール、岩手県アンサンブルコンテスト等の大会参加費補助 ・合同部活動が練習等を実施する際の交通費補助 		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>市内小中学生が参加する各種大会参加費の補助を実施し、児童生徒の健康増進及び文化体育の向上が図られた。</p> <p>中学校の部活動において、生徒数の減少等により、学校を超えて合同で部活動を実施する種目が増え、移動時等における保護者等の負担が増えていることから、交通費相当額を補助し、保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>【課題】</p> <p>中学校の合同部活動の交通費補助について、令和5年度に交付した補助金に残額が生じたことや、部活動の地域移行の検討状況等を踏まえ、補助の在り方を再考する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	防災教育・復興教育推進事業	令和5年度 決算額	1,709,740 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛しその復興・発展を支える人材を育成する。</p> <p>※岩手県からの委託事業（事業実施校は意向調査をもとに岩手県が決定）</p>		
取組内容	<p>①いわての復興教育スクール<沿岸></p> <p>○事業実施校：釜石中学校（1学年）</p> <p>「生き方学習」として、郷土の歴史や文化について知る学習として、橋野鉄鉱山・いのちをつなぐ未来館・鉄の歴史観・郷土資料館の見学、鉄づくり体験を実施した。</p> <p>○事業実施校：釜石東中学校（全学年）</p> <p>「いきる」ことに焦点をあて、命の大切さについて考えるきっかけづくりとして、全学年を対象にした外部講師による講演会を行うほか、命の大切さについて深く考える授業として、学年別に命のはなし教室・薬物乱用防止教室・思春期講演会等を実施した。</p> <p>②交流学習スクール</p> <p>○事業実施校：唐丹中学校（2学年、3学年）</p> <p>内陸部（八幡平市立西根第一中学校）の生徒との交流学習を行った。</p> <p>③震災学習列車活用スクール</p> <p>○事業実施校：釜石中学校（2学年）</p> <p>東日本大震災についての学習として、市外の復興の様子を確認するため、三陸鉄道の震災学習列車に乗車した。</p> <p>（陸前高田コース、大槌コース、大船渡コース（2コース）の4コース）</p> <p>○釜石東中学校（2学年）</p> <p>東日本大震災についての学習として、市外の復興の様子を確認するため、三陸鉄道の震災学習列車に乗車した。</p> <p>（陸前高田コース）</p>		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 目的に沿った事業を実施することができた。</p> <p>①いわての復興教育スクール＜沿岸＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組を通して地域や郷土について理解を深めることができた。 ・自分の命に対する意識を高めることができた。 <p>②交流学习スクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災への意識を高め、自分の地域の自然災害への備えについて改めて考えることができた。 <p>③震災学習列車活用スクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災当時の被害と復興の様子について学び、自然災害への心構えや自分にできること未来のためにできることを考えるきっかけになった。 <p>【課題】 岩手県からの委託事業として実施しているため、県の事業が廃止となった場合、市単独の事業として継続するか検討が必要である。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	ICT 支援員配置事業	令和 5 年度 決算額	2,952,153 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	急速に進む学校の ICT 化による学校現場の負担を軽減し、児童生徒の学びのために ICT 環境のさらなる有効活用を図るもの。		
取組内容	<p>専門的な知見を有する ICT 支援員を配置し、研修会や授業支援を実施することで教員の ICT 活用をサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 1 名、月 96 時間 ・学校担当者向けの研修会の実施 ・Microsoft Teams を活用した相談支援の実施 ・教職員からの質問、サポート依頼への対応、学校訪問 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 ICT 支援員が学校現場での ICT の活用を多面的に支援し、併せてトラブル等を解決することで、教職員や児童生徒が安心して ICT 環境を活用することができた。</p> <p>【課題】 学校で ICT の活用が進んでいるが、ICT 支援員の活用頻度が学校によって差があるため、ICT 支援員の活用事例を各校に展開するなどして、引き続き学校を支援する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	ICT 活用教育推進事業	令和 5 年度 決算額	小：16,705,829 円 中：11,743,473 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	ICT の活用により小中学生の主体的な学びを促し、確かな学力の育成を図るため、必要な環境を充実・整備するもの。		
取組内容	<p>従来の ICT 環境に加え、GIGA スクール構想により整備された児童生徒 1 人 1 台端末を小中学校が有効に活用できるよう、ICT 支援員と連携して環境整備及び支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器及び周辺機器賃借料 ・ 授業支援ソフト及びプログラミング教材賃借料 ・ 市内小中学校からの問い合わせ対応、必要に応じて学校訪問 ・ 学校現場の需要に応じた授業支援アプリ（ロイロノート）の試験導入 ・ 一部の市職員を除く市内全教職員に指導者用タブレット端末を貸与し、ICT を活用した業務改善を推進 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 これまでの取り組みに加え、管理職を含めた市内全教職員に指導者用タブレット端末を貸与したことで、授業以外での ICT の活用の幅が広がり、ペーパーレス化等、教職員の負担軽減・業務改善を実現した。</p> <p>また、ロイロノートを試験導入したことで、授業や、毎日の健康観察等、様々な場面で ICT の活用の場が増えている。</p> <p>【課題】 児童生徒 1 人 1 台端末の整備後、約 3 年が経過しているが、教員による ICT 機器の活用頻度の差が拡大し、結果として児童生徒の ICT 機器の活用頻度に差が生じているため、ICT 支援員等を活用し、引き続き学校を支援していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	要保護・準要保護児童生徒援助費	令和5年度 決算額	○小学校 学用品費等 10,945,752 円 学校給食費 18,565,838 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 学用品費等 14,674,502 円 学校給食費 10,696,518 円
目的	経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。		
取組内容	<p>学用品費等（通学用品費、校外活動費、修学旅行費、児童・生徒会費等）及び学校給食費の援助を行った。</p> <p>【小学校】 要保護：8人 準要保護：404人 準要保護（小学校入学前学用品費支給者）：38人 準要保護学校給食費援助人数：404人 ※人数は援助した児童数（転出等により年度途中で援助が終了した児童も含む。）</p> <p>【中学校】 要保護：4人 準要保護：204人 準要保護（中学校入学前学用品費支給者）：64人 準要保護学校給食費援助人数：204人 ※人数は援助した生徒数（転出等により年度途中で援助が終了した生徒も含む。）</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し必要な援助を行い、安心して教育を受けられる環境が作られた。</p> <p>【課題】 被災児童生徒就学援助事業費補助金の継続時期が不透明であり、一般財源のみとなった場合、現在の認定基準（生活保護基準×1.3倍未満）で事業を継続することができるのか、認定基準の見直しや財源確保を含め、実施内容を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	特別支援教育就学奨励費	令和5年度 決算額	○小学校 582,594円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 730円
目的	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、必要な経費の一部を補助することにより、特別支援教育の普及奨励を図るもの。		
取組内容	<p>学用品費、修学旅行費、学校給食費等の一部を補助した。</p> <p>【援助人数】 小学校：16人　中学校：1人 中学生については、職場実習交通費の補助</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 必要な経費の一部を補助することで、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>【課題】 要保護・準要保護児童生徒援助費の認定基準と比較し、所得の認定基準額の上限額が高くなっていることから、学校給食費は半額補助、修学旅行費には上限が設けられており、要保護・準要保護児童生徒援助費の同等の補助基準にするべきか検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	友好都市中学生相互交流事業 (朝日町交流事業)	令和5年度 決算額	0円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	朝日町との交流を通して互いの市町の良さを学び合い、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		
取組内容	<p>【実施日】令和5年12月4日(月)</p> <p>【時間】10:10~11:00</p> <p>【参加者】富山県朝日町立朝日中学校1学年51名 岩手県釜石市立大平中学校2学年29名</p> <p>【交流方法】Teamsによるオンライン交流</p> <p>【内容】 互いの市町及び学校の紹介、朝日中学校は総合的な学習での取り組みについて、大平中学校は防災についての取り組みを紹介しあい、朝日町、釜石市両市町の良さやそれぞれの取り組みについて学び合った。互いの発表に対して、質疑応答や感想発表を行いながら、学んだことを交流し友好を深めた。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 オンラインでの交流となったが、互いの市町の取り組みについて交流し合うことで、生徒の意識の向上が見られた。</p> <p>【課題】 接続がうまくいかなかったり、発表のためのパワーポイント資料にトラブルが起きたりしてしまったため、オンラインでの交流の難しさを感じた。 オンラインでも円滑に交流できるよう、ICT支援員の活用や、様々なトラブルへの対処方法等の備えをし、あわせて交流の内容も検討していきたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	中学生相互派遣事業 (青森市平和・防災学習事業)	令和5年度 決算額	21,920円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	青森市の中学生との交流を通して、平和や防災についての学習を深め、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		
取組内容	<p>【参加者】釜石市各中学校代表1学年10名(各校2名) 青森市中学校代表1学年10名(各校2名)</p> <p>【釜石市での交流】8月9日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄の学習(場所:鉄の歴史館) 青森市の中学生と一緒に、館内で原寸大に復元された高炉の模型を中心にしたシアターを鑑賞し、職員から日本初の洋式高炉を完成させるまでの歴史的な経緯や、戦時下の製鉄所の役割、艦砲射撃についての説明を受け、平和への思いを強くした。 釜石市戦没者追悼式への参加(場所:釜石市民ホール) 両市の中学生による活動紹介を行った。青森市代表は訪問の目的や交流を通じて得たいこと、学びたいことを述べ、釜石市代表は語り継ぐことの大切さと、平和な未来を創造していくことへの誓いを述べ、全員で献花をした。 戦争に関する学習会及び意見交換(場所:釜石情報交流センター) ボランティア団体「颯・2000の会」より艦砲射撃に関する紙芝居や、体験した方の手記、戦争に関する絵本の読み聞かせをしていただいた。続いて、当時中学校3年生で実際に戦争を体験した佐野睦子さんより、戦時下の女学校や日常生活についてお話を聞いた。 最後に、印象に残った研修とその理由、平和や防災についての考えなどを発表し、交流を深めた。 釜石市郷土資料館の見学 二度の艦砲射撃を受け、釜石市内に今も残る戦跡の数々について学習。 <p>【各校での共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者は、体験したことや学んだことを各中学校の生徒に情報発信した。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】 平和や防災に関する歴史や現状について学びを深めることで、生徒の意識の向上が図られた。また、代表生徒が学んだことを各学校で発表することで、学校全体の意識の向上にもつながった。</p> <p>【課題】 今年度は釜石市から青森市への交流訪問がなかったため、追悼式典前の事前の学習や意識づけが十分に行えなかった。今後はその点を考えて交流を行うようにしていきたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	全国標準学力検査（NRT）の実施	令和5年度 決算額	○小学校 1,287,280 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 1,056,780 円
目的	標準学力検査（NRTテスト：相対評価法）を行うことで、全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握し、調査分析により、個人内評価、補充指導に活用するもの。		
取組内容	<p>NRTテストを市内各小中学校（小学校9校、中学校5校）で4月に実施 ※検査教科は学年により限られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2、3年生 国語と算数を実施 4～6年生 国語・算数・社会・理科を実施 ・中学校 1年生 国語・数学・社会・理科を実施 2、3年生 国語・数学・英語・社会・理科を実施 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 学習指導要領に準拠し、各教科の内容に合わせた領域で構成されている検査であり、調査分析を行うことにより、個々の補充指導等に活用することができ、学力向上に繋がる一助となった。</p> <p>【課題】 NRTテストとは別に年間の指導目標の実現状況を確認するための客観的な資料が得られる内容の標準学力検査（CRTテスト：絶対評価法）もあり、それぞれに実施目的があるため、各学校の意見を伺いながら、市内の子どもたちをより成長させるための学力調査の方法について、協議を進めていく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策2
実施施策

子どもを育む環境づくり

(1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

事業名	教育広報発行事業	令和5年度 決算額	277,200 円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	教育行政について広く市民に周知するもの。		
取組内容	<p>「教育広報かまいし」（A4版・4ページ・4色カラー刷）を年2回（11/1号、4/1号）発行し、全世帯へ配付した。</p> <p>【主な掲載記事】</p> <p>11/1号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生海外体験学習事業報告 ・中学校部活動の地域移行に向けて ・「釜石市小中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」の策定に向けて <p>4/1号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度教育行政方針演述概要 ・第3次釜石市教育大綱の策定について ・「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」の策定について ・中学校部活動の地域移行に向けて ・令和5年度料理募集入賞作品決定、学校給食における地産地消の取組 		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>市民に対し、教育委員会が取り組んでいる事業や子どもたちの特色ある活動など、様々な情報をお知らせすることができた。</p> <p>これにより、教育委員会の取り組みや、学校の活動にさらなる関心を持ってもらうことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>市民が手にとりたくなるような、見やすく分かりやすい広報紙となるよう、文字量や表現表記などの工夫が必要である。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	かまいし絆会議運営事業	令和5年度 決算額	453,065 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内の小中学生一人ひとりが将来の釜石市をつくるリーダーになれる力を身に付けるもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かまいし絆会議の開催（8/3、12/26） 釜石市民ホール TETTO ホール B を会場に、各小中学校児童生徒 28 名（各校 2 名）、各小中学校引率教員 14 名（各校 1 名）が参加し、「絆の日」の取組や絆会議 4 つの柱の活動などについて話し合った。8/3 については、かまいし未来づくりプロジェクト 22 名（オンライン参加 1 名含む）も参加し、釜石市の食に関する課題について話し合った。 ・中学校専門部会の開催（7/10、12/6） 7/10 については、各中学校 3 年生代表 2 名ならびに担当教員 1 名が参加し、かまいし絆会議の本会議に向けて、「絆の日」の取組についてのアイデアなどを話し合った。12/6 については、各中学校 2 年生代表 2 名ならびに担当教員 1 名が参加し、新体制の確認、かまいし絆会議の本会議に向けて話し合う内容を検討した。 ・かまいし絆会議通信の発行（学校教育課、各学校） 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 釜石市小中学生による「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のことに課題意識を持ち、児童会や生徒会を中心に自分たちにできることを考える場として機能した。特に 4 つの柱のうち、地域活動に重点を置き、市内小中学生全員で活動を行うことで、地域貢献への意識が高まった。</p> <p>【課題】 かまいし未来づくりプロジェクトと話しあった内容が、各校での取り組みに繋がるように、総合政策課と共に内容の検討を行いたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	「総合的な学習の時間」推進事業	令和5年度 決算額	1,166,065 円																														
担当課	教育委員会事務局学校教育課																																
目的	「総合的な学習の時間」を、学校及び地域の特色を生かした創意ある学習の時間を旨として実施し、教育の充実を図るもの。																																
取組内容	<p>各校の特色を生かした「総合的な学習の時間」の取組に係る経費を負担した(報償費・需用費・役務費)。 【実施校】 小学校9校、中学校5校 【主な活動内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>農業体験学習・郷土料理学習</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>郷土の歴史・釜石の自然について</td> </tr> <tr> <td>白山小学校</td> <td>田植え・稲刈り</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>防災学習</td> </tr> <tr> <td>小佐野小学校</td> <td>しし踊り・国際理解学習</td> </tr> <tr> <td>甲子小学校</td> <td>情報学習・さつまいも栽培</td> </tr> <tr> <td>鶴住居小学校</td> <td>防災学習・ボランティア活動</td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>植樹活動・そば作り</td> </tr> <tr> <td>唐丹小学校</td> <td>鮭の稚魚放流・鉄の学習</td> </tr> <tr> <td>釜石中学校</td> <td>防災学習・進路学習</td> </tr> <tr> <td>甲子中学校</td> <td>鉄の学習・進路学習</td> </tr> <tr> <td>釜石東中学校</td> <td>防災学習・鉄の学習</td> </tr> <tr> <td>唐丹中学校</td> <td>キャリア教育・防災学習</td> </tr> <tr> <td>大平中学校</td> <td>福祉学習・防災学習</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	活動内容	釜石小学校	農業体験学習・郷土料理学習	双葉小学校	郷土の歴史・釜石の自然について	白山小学校	田植え・稲刈り	平田小学校	防災学習	小佐野小学校	しし踊り・国際理解学習	甲子小学校	情報学習・さつまいも栽培	鶴住居小学校	防災学習・ボランティア活動	栗林小学校	植樹活動・そば作り	唐丹小学校	鮭の稚魚放流・鉄の学習	釜石中学校	防災学習・進路学習	甲子中学校	鉄の学習・進路学習	釜石東中学校	防災学習・鉄の学習	唐丹中学校	キャリア教育・防災学習	大平中学校	福祉学習・防災学習
学校名	活動内容																																
釜石小学校	農業体験学習・郷土料理学習																																
双葉小学校	郷土の歴史・釜石の自然について																																
白山小学校	田植え・稲刈り																																
平田小学校	防災学習																																
小佐野小学校	しし踊り・国際理解学習																																
甲子小学校	情報学習・さつまいも栽培																																
鶴住居小学校	防災学習・ボランティア活動																																
栗林小学校	植樹活動・そば作り																																
唐丹小学校	鮭の稚魚放流・鉄の学習																																
釜石中学校	防災学習・進路学習																																
甲子中学校	鉄の学習・進路学習																																
釜石東中学校	防災学習・鉄の学習																																
唐丹中学校	キャリア教育・防災学習																																
大平中学校	福祉学習・防災学習																																
取組による 成果と課題	<p>【成果】 各学校が特色を生かした創意ある学習を実施することにより、児童生徒が自ら課題を見つけ必要な知識や技能の習得、資質や能力の育成につながっている。</p> <p>【課題】 かまいしコミュニティスクール推進事業と統合により廃止する。</p>																																
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																																

事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業	令和5年度 決算額	2,100,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内小中学校において地域に元気を与えるような活動、当市の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め郷土への誇りと愛着を育む、地域と協働により取り組む活動に要する経費に対し、交付金を交付するもの。		
取組内容	市内小中学校 14 校に対し、各校 15 万円交付した。 【事業内容】		
	学校名	活動内容	
	釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動	
	双葉小学校	防災学習会、ふるさと釜石の実践集作成	
	白山小学校	花壇整備活動、白山水田学習、高齢者訪問（花のプレゼント）	
	平田小学校	環境美化活動、地域の歴史、産業の学習	
	小佐野小学校	校報の発行及び地域への配布、伝承活動「小川しし踊り」の実施	
	甲子小学校	交通安全少年団活動、少年少女防災クラブ活動、お年寄り訪問活動、鉄の学習	
	鵜住居小学校	防災だよりの発行、伝統芸能「鵜住居虎舞」の継承活動、学級園活動、鉄の学習、ものづくり体験	
	栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、そば作り活動、鉄の学習	
	唐丹小学校	郷土学習（「鮭の稚魚放流」「鮭の郷土料理教室」「水生環境調査」）、花壇づくり、小中合同国道清掃、環境美化活動	
	釜石中学校	地域の実情に合わせた防災教育、安全啓発活動（「地域の安全マップ」の改訂及び配布）	
	甲子中学校	特設ラグビー部の活動（講習会及び練習会等）、鉄の学習、合唱活動の充実	
	釜石東中学校	鉄づくり体験、漁業体験、防災学習、避難誘導看板製作	
	唐丹中学校	郷土学習（「大石虎舞」）、小中合同運動会、環境美化活動、地域産業学習（「海と希望の学校」及び水産加工場見学）	
大平中学校	福祉学習（大平公園清掃、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、介護実技学習、価値観学習、高齢者との交流活動（ビデオによる交流）） 防災学習（救命救急講習、避難所設置実習、防災ワークショップ、炊き出し訓練）		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 各学校が「かまいしコミュニティスクール推進事業」を活用し、地域に元気を与えるような活動や郷土理解を深める学習を地域と協働で行うことができた。</p> <p>【課題】 来年度は交付金が増えるため、学校運営に地域の声を生かし、地域と一体となって特色のある学校づくりの活動が行われるよう計画を精査する。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	学校給食センター運営費	令和5年度 決算額	258,688,063 円																				
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター																						
目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な食材の確保、衛生管理に十分な注意をはらい、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食を提供する。 児童生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう食育を推進する。 																						
取組内容	<p>○地場産物の利用 水産農林課、産直と情報共有を図り地場産物の確保利用につなげた。 (地場産食材使用状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>使用数量</td> <td>2,388 kg</td> <td>1,919 kg</td> <td>3,096 kg</td> <td>2,891 kg</td> <td>3,472 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>○アレルギー対応給食 乳・卵アレルギーを有する児童生徒に対し、除去食・代替食の提供を行った。</p> <p>○献立募集 小中学生を対象に「なす」を使ったわが家の自慢料理を募集した。入賞者には賞状及び記念品を贈呈した。 応募数：小学校 76 作品（最優秀賞 1、優秀賞 5） 中学校 3 作品（最優秀賞 1、優秀賞 1）</p> <p>○リクエスト給食 小6、中3のアンケート結果により1位を中心に1月、2月の献立に取り入れ実施した。</p> <p>○学校給食残量調査 1～2学期間において副菜及びご飯の残量調査を実施した。</p> <p>○防災給食 防災教育の一環としてローリングストックできる食品である缶詰（豆類・とうもろこし）や乾物野菜（切干大根）を取り入れた給食の提供を行った。</p> <p>○姉妹都市・友好都市交流献立 愛知県東海市及び富山県朝日町にちなんだ給食を提供した。</p> <p>○まるごと釜石給食 釜石産の新米、野菜と釜石はまゆりサクラマスを使用した給食を提供し、併せて、食材生産者を対象に試食会を実施した。</p> <p>○施設見学及び給食試食会 ・施設見学 5回 87人 ・給食試食会 14回 305人</p>						元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	品目数	10	11	10	11	10	使用数量	2,388 kg	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg	3,472 kg
	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度																		
品目数	10	11	10	11	10																		
使用数量	2,388 kg	1,919 kg	3,096 kg	2,891 kg	3,472 kg																		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業のご厚意により釜石はまゆりサクラマスを使用することができ、まると釜石給食として地元産米、野菜とともに提供したことにより、児童生徒が、地域の食材や産業について理解を深めることにつながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して使用するためには、地産地消の推進を図るとともに予算確保に努めていく。また地元産食材の安定した量の確保、及び新たな品目の活用を検討していく。 ・残量調査の結果から、児童生徒の嗜好を考慮しながら調理方法や味付け等をさらに検討していく。
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	厨房備品更新事業	令和5年度 決算額	15,125,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全で確実な学校給食を学校の給食実施日に確実に提供し、学校給食を生かした食育の推進に繋げたい。 		
取組内容	<p>旧学校給食センターからの移設厨房備品の一つであり、保守点検業者から更新を勧められていたスチームコンベクションオーブンを更新した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチームコンベクションオーブンの購入 2台 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スチームコンベクションオーブンの更新を図ることができた。このことが、安心安全で確実な学校給食の提供の継続につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新前のスチームコンベクションオーブンと同様に旧学校給食センターからの移設厨房備品である真空冷却機や冷蔵庫類についても、高頻度の修繕にて稼働を保っている状態であり、安心安全な学校給食の提供のためには、これらの確実な更新が必要である。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	子ども・子育て支援給付事業（給食費の一部無償化事業）	令和5年度 決算額	4,544,251円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		
目的	多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進する。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月～11月配食分：市内小中学校に児童生徒が3人以上在籍している場合、3人目以降の児童生徒を対象に給食費を無償化した。 ・令和5年12月配食分～：高校生以上(社会人、学生含む)の子も含めた上から3人目以降の児童生徒に対象を広げ、給食費の一部無償化を拡充した。 <p>【対象件数】198件（小学生127件、中学生71件）</p>		
取組による成果と課題	<p>【成果】 多子世帯の学校給食費の負担軽減を図った。</p> <p>【課題】 学校給食費の負担軽減のさらなる拡充については、財源確保が大きな課題となり、国や岩手県による財源支援がなければ困難であることから、国の検討状況を踏まえ、子育て施策全体の中で総合的に検討していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策2
実施施策

子どもを育む環境づくり

(2) 教育環境の充実とさらなる向上

事業名	岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会運営補助金	令和5年度 決算額	50,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	岩手県立釜石高等学校定時制教育の振興を図るもの。		
取組内容	<p>岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対して、補助金を交付した。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種(陶芸、野外炊飯、ダム等見学、スポーツ)体験学習の実施 ※令和5年度は防災体験学習も実施 ・校内生活体験発表会の実施 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>各種体験学習や部活動にかかる経費の補助により、教育活動や学校行事が活発に行われた。</p> <p>また、教材や備品の整備により、学習環境が充実し、生徒の学習意欲と福利向上が図られた。</p> <p>【課題】</p> <p>補助金制度の趣旨に沿って、事業に必要な範囲での補助とするために、同教育振興会の事業内容、決算状況を精査し、補助金額や補助の方法等を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	奨学資金貸付金	令和5年度 決算額	6,336,000 円																																
担当課	教育委員会事務局総務課																																		
目的	優秀な学生であって、経済的事由により修学の困難な者に対して、学費の貸与を行うことにより修学の機会を与え、有用な人材の育成を図るもの。																																		
取組内容	<p>奨学生に対し学費の貸与を行った。また、物価高騰により経済状況が変化した家庭もあるため、奨学生の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予を行った。</p> <p>貸与月額 ・高等学校 16,000 円以内 ・大学等 45,000 円以内 (短期大学、専門学校及び大学院も含む)</p> <p>【奨学金の貸付者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金の貸付者数</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>【奨学金の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>追加募集者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>返還猶予者数</td> <td>2</td> <td>2(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※返還猶予数のうち、括弧内の数は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入減によるもの。</p>					年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	奨学金の貸付者数	20	20	14	13	12	年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	追加募集者数	0	0	0	0	0	返還猶予者数	2	2(1)	1(1)	1(1)	1
年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5																														
奨学金の貸付者数	20	20	14	13	12																														
年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5																														
追加募集者数	0	0	0	0	0																														
返還猶予者数	2	2(1)	1(1)	1(1)	1																														
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>学生の金銭的な負担の軽減が図られ、学習意欲が高く有能な学生が安心して学ぶことができる環境が提供されたことにより、将来有望な人材の育成に寄与することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>児童・生徒や保護者、学校関係者に対し、適切な時期に丁寧な情報提供を行い、貸付を必要とする方に現行制度が十分に活用されるよう、さらなる周知が必要である。</p> <p>また制度に対するニーズを把握し、今後の施策の検討に努めたい。</p>																																		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																																		

事業名	学校空調整備事業	令和5年度 決算額	【小学校費】 5,815,700円
担当課	教育委員会事務局総務課		【中学校費】 6,839,580円
目的	児童生徒の熱中症対策及び学習環境改善のため、市内小中学校の特別教室にエアコンを設置するもの。		
取組内容	甲子小学校及び大平中学校の特別教室にエアコンを設置した。 【設置台数】 ・甲子小学校：理科室2台、音楽室2台 ・大平中学校：理科室2台、音楽室2台		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 エアコンの設置により夏季における熱中症対策が図られた。 学習環境の改善により、児童生徒の学習意欲の向上が見込まれることから、今後予定している特別教室への設置についても、維持管理費及び利用頻度等を勘案した上で取り組んでいく。</p> <p>【課題】 市内小中学校の特別教室へのエアコンの設置は、夏季の熱中症対策や学習意欲の向上のためにも重要だと認識しており、順次、その整備に取り組んでいるが、設置を要する市内小中学校の特別教室が数多くあることから、全ての特別教室への設置が完了するまでには、相当の期間を要する状況にある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	学校施設トイレ洋式化事業	令和5年度 決算額	【小学校費】 2,420,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		【中学校費】 1,745,800円
目的	児童生徒の快適な教育環境の向上を図るため、屋内運動場等の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するにあたり、図面等の作成や設計上の諸条件を整理することを目的に設計業務を行うもの。		
取組内容	平田小学校及び甲子中学校のトイレ洋式化改修に係る設計業務を行った。 【業務内容】 ・設計書、各種図面等の作成		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 洋式化改修により、学校トイレの衛生環境の改善が図られる。また、水まわりや照明を改善することで節水効果や省エネ化など年間経費の削減も見込まれる。</p> <p>【課題】 学校トイレの洋式化は、児童生徒が安心して学べる教育環境の確保と災害時の避難所機能の強化のためにも重要だと認識しており、順次、その整備に取り組んでいるが、改修を要する市内小中学校が数多くあることから、全ての洋式化が完了するまでには、相当の期間を要する状況にある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	学校環境整備事業	令和5年度 決算額	7,148,900 円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	機器の老朽化が著しい、小佐野小学校の放送設備一式（音声映像調整卓、非常用放送設備）を改修するもの。		
取組内容	<p>小佐野小学校の放送設備改修工事を実施した。</p> <p>【工事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声映像調整卓及び非常用放送設備改修 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>非常用を含めた放送設備一式を改修することで教育環境の改善と災害時等の避難誘導の安全対策が図られた。</p> <p>【課題】</p> <p>市内小中学校の非常放送設備を含めた放送設備一式については、機器の老朽化に伴い音声及び映像の劣化が著しく、また、機器の故障時においても交換部品の保有期間が終了していることから、部品調達ができないため、修理対応が困難となる場合がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	旧小佐野中学校解体事業	令和5年度 決算額	226,322,800 円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	老朽化が著しい旧小佐野中学校の校舎及び屋内運動場等を解体し、地域の安全を確保するもの。		
取組内容	旧小佐野中学校の校舎及び屋内運動場等の解体工事を実施した。 【事業概要】 ・解体工事（校舎、屋内運動場他計7棟） 延床面積 計6,171㎡ 外構設備解体・樹木伐採等 粗整地（敷均し） ・工事監理業務委託		
取組による 成果と課題	【成果】 旧小佐野中学校は閉校から相当年数が経過し、老朽化による地域の安全面や周辺の景観への影響が懸念されていたが、解体工事の実施により地域の安全確保が図られた。 【課題】 なし		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	学校規模適正化・適正配置の取組	令和5年度 決算額	一 円
担当課	教育委員会事務局 学校規模適正化推進室		
目的	児童生徒数が減少し、小・中学校の小規模校化が予測される中、学校規模の面から望ましい教育環境を整備し児童生徒の「強く生き抜く力」を育成するため、学校規模の適正化・適正配置を推進するもの。		
取組内容	<p><小中一貫教育先進校視察></p> <p>① 大槌町立大槌学園 月日：令和5年8月31日（木） 参加者：教育委員及び教育委員会事務局職員 13人</p> <p>② 紫波東学園（紫波町立紫波東小学校、紫波町立紫波第二中学校） 月日：令和5年11月13日（月） 参加者：教育委員及び教育委員会事務局職員 12人</p> <p><釜石市立小・中学校の学校規模適正化・適正配置に関するアンケート> 目的：今後の学校規模の適正化・適正配置推進の参考とするため 実施期間：令和6年2月1日～12日 対象：未就学児の保護者、小中学生の保護者 回答数：603（回収率28.7%）</p> <p><釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針の策定></p> <p>○策定の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月～ 釜石市学校規模適正化検討委員会を開催（9回） ・令和4年11月 検討委員会が教育委員会に提言書を提出 ・令和5年12月 基本方針（案）について釜石市総合教育会議で説明 ・令和6年1月 基本方針（案）について釜石市議会議員全員協議会で説明 ・令和6年1月～2月 意見募集の実施 ・令和6年2月 基本方針（案）地域説明会の開催 （中学校区5カ所で開催 参加者数 延べ73人） ・令和6年3月 釜石市教育委員会議で議決（策定） 		

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」を策定することができた。 また、保護者を対象としたアンケート調査では保護者の意識や意見などを確認することができた。貴重な意見として、今後の適正化・適正配置の参考とする。</p> <p>【課題】 今後は、基本方針を具現化するための推進計画を策定していく必要がある。推進計画策定委員会を設置し計画を検討していくとともに、学校、PTA、地域の皆さんと意見交換を行いつつ、取組を進めていく。 小中一貫教育については、造詣の深い方々から知見を伺うなどし、さらに理解を深め、その効果や運営方法など検討していく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	教育用コンピュータ管理経費 (小中学校費)	令和5年度 決算額	教育総務費：32,744,286円 小学校費：9,160,470円 中学校費：5,792,732円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内小中学校及び教育委員会事務局にて使用しているPC等の適切な維持管理を行うもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ機器等の保守管理業務委託 ・市内小中学校の職員室プリンターの使用料 ・インターネット使用料 ・パソコン教室の機器撤去及び環境整備 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 業務委託先の事業者と連携の上、市内小中学校のICT機器等のトラブルに迅速に対応した。また、タブレット端末の導入に伴い、活用頻度が低下したパソコン教室の機器を撤去することで維持経費を効率化し、併せて学校が他の目的でパソコン教室を利用しやすいよう、学校の要望を把握した上で環境整備を実施することができた。</p> <p>【課題】 令和7年度から県内統一のクラウド型校務支援システムの運用を予定しており、令和6年度中にソフト・ハード両面の準備を適切に実施し、学校現場の負担をさらに軽減する。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	教育研究所運営費	令和5年度 決算額	2,239,222 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>幼稚園・保育所・こども園・小中学校の教育実践に資する活動を計画し運営するもの。</p> <p>教育課題やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与するもの。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所各研究班による課題研究 <ul style="list-style-type: none"> 「こころの教育研究班」 <p>将来につながる「強く生き抜く力」を確実に身に付けるとともに、いつ起こるか分からない自然災害に対する「備え」の意識を育成するための授業のあり方について考え、深めた。</p> 「授業づくり研究班」 <p>子どもにとって意味のある、教師にとって価値のある学びを追求することを目的とし、主体的・対話的で深い学びにつなげる授業づくりに取り組み、実践を深めた。</p> <p>一泊二日で先進校視察を実施し、授業参観及び授業実践を行い、今求められている授業について理解を深めた。</p> 「幼保小連携推進委員会」 <p>各園における園内研修を通して、子どもの発達や学びの連続性をとらえながら、幼児期の学びから小学校の学習とどのようにつながるかを深めた。</p> ・教育研究所研究発表大会（1月5日） ・いのちをつなぐ未来館の館長による講演会を実施し、震災当時の話を聞くことで、改めて防災教育の大切さと必要性について考えることができた。 ・心身の不安や悩み、登校への不安等を抱える児童生徒の援助及び指導のため、教育支援教室（若葉教室）を運営した。 ・児童生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行った。 ・中学校2校に教育支援員を配置することで、校内の居場所づくりとしての支援を行った。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>研究班・推進委員会において、研究計画に基づき研究・研修を行い、研究発表大会を通じて研究の成果及び課題等を全教職員で共有した。</p> <p>教育支援教室に通室する児童生徒一人一人の状況に応じた支援を行うとともに、学校と情報共有したり連携した取り組みを進めた。</p> <p>令和4年度からこころの教育研究班において作成していた、「釜石市防災教</p>		

	<p>育の手引き」が完成した。次年度は手引きを活用し、防災教育を推進していく。</p> <p>【課題】</p> <p>今後も身に付けさせたい資質・能力を明確にした授業づくりに努め、児童生徒に力をつけるための授業力・指導力の向上を図る必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	令和5年度 決算額	290,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の安心・安全な登下校ならびに児童生徒一人一人の交通安全に対する意識の向上につなげるもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードリーダーの委嘱 市内全体の安全確保等を強化するため、スクールガードリーダー（1名）を委嘱し、市内の巡回指導及び見守り活動により、情報共有、評価を行い、安心・安全の確保に努めた。 ・登下校時の見守り 毎日のように登校・下校の時間帯に各校の児童生徒の見守りと安全指導を行った。登下校に関して学校に情報提供し、学校との連携を図った。 ・市内巡回パトロール 下校時間に合わせて各小学校周辺をパトロールした。低学年の下校時刻から巡回を始め、高学年の下校時刻まで実施した。 ・スクールガードとの情報共有、スクールガードへの指導助言 各校の副校長と登下校の様子や通学路の危険箇所等について情報交換した。副校長から各スクールガードに情報共有をお願いした。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】 年間を通じて児童生徒が安全に登下校することができるように見守りを継続し、児童生徒の交通安全に対する意識の向上が見られた。今後も、安全な登下校となるように見守りや指導を続けていく。</p> <p>【課題】 スクールガードリーダーが高齢であり、次のリーダーを育成する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	特別支援教育支援員配置事業	令和5年度 決算額	39,464,472 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	様々な障がいのある児童生徒への学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う支援員を配置し、当該児童生徒の学校生活の充実を図るもの。		
取組内容	<p>障がいのある児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員を各学校に配置した。</p> <p>【配置校】 釜石小、双葉小、白山小、平田小、小佐野小、甲子小、鶴住居小、唐丹小 釜石中、甲子中、釜石東中、大平中</p> <p>【配置人数】 19 名</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 各学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を必要としている個々の児童生徒に合わせた適切な支援を行うことができた。また、担任と連携して必要なサポートを行い、支援員の目線による気づきを担任等と共有し支援・指導に活用した。それにより、児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことが可能となり、適切な学びの場を作り出す工夫として活かすことができた。</p> <p>【課題】 障がいのある児童生徒は増加傾向だが、現在の人数では必要としているすべての学校に対し十分な配置ができていない。学校からも増員の要望があることから、今後も配置人数の拡充をしていきたいと考えている。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	こころのケア事業	令和5年度 決算額	2,351,279 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応するもの。		
取組内容	<p>スクールカウンセラー（臨床心理士）が各学校を巡回（県派遣2人＋配置型1人）し、カウンセリングを実施した。</p> <p>小学校：児童 753回、保護者 106回 中学校：生徒 628回、保護者 38回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、保護者、教職員との定期的な面談の実施。 ・スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのチームティーチングの実施。 ・気になる児童生徒への対応について、保護者や教職員への日常における支援についてのアドバイス。 ・スクールソーシャルワーカーや関係機関へつなげるきっかけ作り。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】 スクールカウンセラーの面談を通して、児童生徒や保護者、教職員の心のケアの対応や、サポート等を行うことができた。また、定期的な面談の他に緊急を要する面談にも対応することができた。</p> <p>【課題】 面談を希望する児童生徒・保護者が多く、日程や時間の調整に苦慮する場面もある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	スクールバス運行事業	令和5年度 決算額	○小学校 24,656,214 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 12,325,854 円
目的	遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保するためスクールバス及びタクシーを運行するもの。		
取組内容	【スクールバス利用児童生徒数】		
	〈小学校〉 127人		
	学校名	児童数	学校名 児童数 学校名 児童数
	釜石小	1人	平田小 7人 鵜住居小 48人
	双葉小	0人	小佐野小 1人 栗林小 5人
	白山小	0人	甲子小 49人 唐丹小 16人
	〈中学校〉 55人		
	学校名	生徒数	学校名 生徒数 学校名 生徒数
	釜石中	0人	釜石東中 30人 大平中 4人
	甲子中	14人	唐丹中 7人 - -
【運行状況】			
配備場所	配備台数	車種	対象学校等
平田小	1台	マイクロバス	平田小、大平中
鵜住居小	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中
	1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中
栗林小	1台	マイクロバス	栗林小
唐丹小	1台	マイクロバス	唐丹小、唐丹中
	1台	ワゴン車	唐丹小、唐丹中
甲子中	1台	中型バス	甲子小、甲子中
釜石中	1台	マイクロバス	甲子小、甲子中、釜石小、釜石中
釜石東中	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中
	1台	マイクロバス	車検等の代替バス
学校教育課	1台	中型バス	車検等の代替バス
合計	11台		
【スクールタクシー利用児童生徒数等】			
小学校： 9名 (釜石小学校1名:新浜町地区、小佐野小学校1名:上小川地区、鵜住居小学校7名:両石地区)			

<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】 遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保することにより、登校時の安全確保や保護者の負担軽減を図ることができた。</p> <p>【課題】 初年度登録より10年以上経過しているバスが多く、故障も多くなっている。また、ルートによっては道路凍結により運行できない場合もあり、児童生徒の安全のためにも、計画的にスクールバスの更新をしていく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	学校図書館図書購入費	令和5年度 決算額	○小学校 1,997,981円																																																			
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 1,378,095円																																																			
目的	児童生徒の読書環境の推進に向けて、小中学校の図書整備を計画的に進め、教育環境の充実を図るもの。																																																					
取組内容	<p>国が示す学校図書標準に基づき各小中学校の図書館図書を購入した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>購入冊数</th> <th>図書館図書購入費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>釜石小学校</td><td>115冊</td><td>213,900円</td></tr> <tr><td>双葉小学校</td><td>90冊</td><td>191,081円</td></tr> <tr><td>白山小学校</td><td>51冊</td><td>108,000円</td></tr> <tr><td>平田小学校</td><td>93冊</td><td>216,000円</td></tr> <tr><td>小佐野小学校</td><td>178冊</td><td>405,000円</td></tr> <tr><td>甲子小学校</td><td>190冊</td><td>378,000円</td></tr> <tr><td>鶴住居小学校</td><td>113冊</td><td>216,000円</td></tr> <tr><td>栗林小学校</td><td>68冊</td><td>135,000円</td></tr> <tr><td>唐丹小学校</td><td>71冊</td><td>135,000円</td></tr> <tr><td>小学校 計</td><td>969冊</td><td>1,997,981円</td></tr> <tr><td>釜石中学校</td><td>248冊</td><td>540,000円</td></tr> <tr><td>甲子中学校</td><td>190冊</td><td>360,000円</td></tr> <tr><td>釜石東中学校</td><td>94冊</td><td>164,985円</td></tr> <tr><td>唐丹中学校</td><td>47冊</td><td>135,000円</td></tr> <tr><td>大平中学校</td><td>85冊</td><td>178,110円</td></tr> <tr><td>中学校 計</td><td>664冊</td><td>1,378,095円</td></tr> </tbody> </table>			学校名	購入冊数	図書館図書購入費	釜石小学校	115冊	213,900円	双葉小学校	90冊	191,081円	白山小学校	51冊	108,000円	平田小学校	93冊	216,000円	小佐野小学校	178冊	405,000円	甲子小学校	190冊	378,000円	鶴住居小学校	113冊	216,000円	栗林小学校	68冊	135,000円	唐丹小学校	71冊	135,000円	小学校 計	969冊	1,997,981円	釜石中学校	248冊	540,000円	甲子中学校	190冊	360,000円	釜石東中学校	94冊	164,985円	唐丹中学校	47冊	135,000円	大平中学校	85冊	178,110円	中学校 計	664冊	1,378,095円
学校名	購入冊数	図書館図書購入費																																																				
釜石小学校	115冊	213,900円																																																				
双葉小学校	90冊	191,081円																																																				
白山小学校	51冊	108,000円																																																				
平田小学校	93冊	216,000円																																																				
小佐野小学校	178冊	405,000円																																																				
甲子小学校	190冊	378,000円																																																				
鶴住居小学校	113冊	216,000円																																																				
栗林小学校	68冊	135,000円																																																				
唐丹小学校	71冊	135,000円																																																				
小学校 計	969冊	1,997,981円																																																				
釜石中学校	248冊	540,000円																																																				
甲子中学校	190冊	360,000円																																																				
釜石東中学校	94冊	164,985円																																																				
唐丹中学校	47冊	135,000円																																																				
大平中学校	85冊	178,110円																																																				
中学校 計	664冊	1,378,095円																																																				
取組による 成果と課題	<p>【成果】 読書に親しむ教育環境の充実により、児童生徒や教職員の情報ニーズへの対応、学習支援や情報の収集・選択・活用能力を育むことが図られた。</p> <p>【課題】 図書の購入のほか、各校の蔵書数の把握や図書の更新を進める必要がある。</p>																																																					
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																																																					

事業名	教材備品等管理費	令和5年度 決算額	○小学校 2,981,011 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 3,731,451 円
目的	教材備品の整備を計画的に進め、教育環境の充実を図る。		
取組内容	市内小中学校に購入希望調査を実施し、各学校で必要としている教材備品を整備した。また大型備品として、大平中学校に楽器（トランペット、ユーフォニアム）を整備した。		
	【整備した教材備品（抜粋）】		
	学校名	品名	
	釜石小学校	ライン引き器、両面発表ボード、カラーペットマット	
	双葉小学校	プールリングブイ、屋内用ティーボールセット、	
	白山小学校	スチームアイロン、地球儀、カラー跳び箱	
	平田小学校	ライン引き、水書用具セット、ウォーキングメジャー	
	小佐野小学校	電動糸鋸機、USB 書画カメラ、かるいノート黒板	
	甲子小学校	ウォーキングメジャー、クッションマット	
	鵜住居小学校	LED タイマー	
	栗林小学校	多目的支柱、連動式 12 カラー分割時計模型	
	唐丹小学校	とび箱	
	釜石中学校	コンピューターミシン、角型蒸器、トランポリン	
	甲子中学校	バレー支柱、バレーボールネット、アニメ古典文学 DVD	
	釜石東中学校	木工具収納スタンド、電磁力実験器、真空落下実験器	
	唐丹中学校	電子ミシン、卓球台、デジタル握力計	
大平中学校	ボッチャボールセット、CD ステレオシステム		
【整備額】			
学校名	整備額	その他（修繕、手数料）	
釜石小学校	557,924 円	小学校 修繕料 52,800 円 ピアノ調律手数料 264,000 円	
双葉小学校	252,844 円		
白山小学校	232,200 円		
平田小学校	474,256 円		
小佐野小学校	345,682 円		
甲子小学校	250,000 円		
鵜住居小学校	246,730 円		

	栗林小学校	168,451 円		
	唐丹小学校	107,524 円		
	小学校計	2,635,611 円	316,800 円	
	釜石中学校	637,499 円	中学校 修繕料 214,200 円 ピアノ調律手数料 262,000 円	
	甲子中学校	468,307 円		
	釜石東中学校	496,593 円		
	唐丹中学校	321,491 円		
	大平中学校	1,271,561 円		
	中学校計	3,195,451 円		476,200 円
取組による 成果と課題	<p>【成果】 概ね購入希望調査に沿った教材備品を購入することができ、適切な教育環境の充実が図られた。</p> <p>【課題】 希望している教材備品が予算額を超えてしまう学校もあり、予算の増額が望ましいが、現時点においては最低でも現在の予算を確保していく必要がある。 また備品自体が古くなってきているため、修繕が必要な備品が増えてきており、購入のための予算だけではなく修繕に係る予算も必要となってきている。 高額となる備品（吹奏学部の楽器類）の要望も出ているが、学校統合を見据えながら計画的に整備していく必要がある。</p>			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)			

事業名	理科教育等設備備品購入費	令和5年度 決算額	○小学校 1,047,592 円																
担当課	教育委員会事務局学校教育課		○中学校 824,736 円																
目的	理科備品の整備を計画的に進め、理科教育環境の充実を図る。																		
取組内容	市内小中学校に購入希望調査を実施し、各学校で必要としている理科備品及び算数・数学備品を購入・整備した。																		
	【整備した理科備品（抜粋）】																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>振り子実験器、水中スコープ、試験管洗浄器</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>流水実験器、電子てんびん、大定規、立体構成説明器</td> </tr> <tr> <td>鵜住居小学校</td> <td>百葉箱</td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>プレパラートセット、色付き蒸発皿、発問・めあて黒板</td> </tr> <tr> <td>釜石中学校</td> <td>鉄製スタンド（2種）</td> </tr> <tr> <td>甲子中学校</td> <td>力学台車滑走台セット、理科実験用ガスコンロセット</td> </tr> <tr> <td>大平中学校</td> <td>球の表面積・体積説明器、電気分解装置、光学台</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	品名	釜石小学校	振り子実験器、水中スコープ、試験管洗浄器	双葉小学校	流水実験器、電子てんびん、大定規、立体構成説明器	鵜住居小学校	百葉箱	栗林小学校	プレパラートセット、色付き蒸発皿、発問・めあて黒板	釜石中学校	鉄製スタンド（2種）	甲子中学校	力学台車滑走台セット、理科実験用ガスコンロセット	大平中学校	球の表面積・体積説明器、電気分解装置、光学台
	学校名	品名																	
	釜石小学校	振り子実験器、水中スコープ、試験管洗浄器																	
	双葉小学校	流水実験器、電子てんびん、大定規、立体構成説明器																	
	鵜住居小学校	百葉箱																	
	栗林小学校	プレパラートセット、色付き蒸発皿、発問・めあて黒板																	
	釜石中学校	鉄製スタンド（2種）																	
	甲子中学校	力学台車滑走台セット、理科実験用ガスコンロセット																	
大平中学校	球の表面積・体積説明器、電気分解装置、光学台																		
【整備額】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>整備額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>376,853 円</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>258,461 円</td> </tr> <tr> <td>鵜住居小学校</td> <td>330,000 円</td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>82,278 円</td> </tr> <tr> <td>釜石中学校</td> <td>218,940 円</td> </tr> <tr> <td>甲子中学校</td> <td>447,822 円</td> </tr> <tr> <td>大平中学校</td> <td>157,974 円</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	整備額	釜石小学校	376,853 円	双葉小学校	258,461 円	鵜住居小学校	330,000 円	栗林小学校	82,278 円	釜石中学校	218,940 円	甲子中学校	447,822 円	大平中学校	157,974 円	
学校名	整備額																		
釜石小学校	376,853 円																		
双葉小学校	258,461 円																		
鵜住居小学校	330,000 円																		
栗林小学校	82,278 円																		
釜石中学校	218,940 円																		
甲子中学校	447,822 円																		
大平中学校	157,974 円																		
【成果】																			
概ね購入希望調査に沿った理科備品及び算数・数学備品を購入することができ、適切な理科教育環境の充実が図られた。																			
【課題】																			
国庫補助金を活用しているがR5年度より予算が隔年配分となった。予算配分及び備品整備を計画的に行っていく必要がある。																			
取組による 成果と課題																			
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																		

事業名	学校適応支援員配置事業	令和5年度 決算額	5,189,641円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	主に別室登校の児童生徒への学習支援や個別支援を行う支援員を配置し、長期欠席になることを防ぎ、不登校生徒の減少及び改善を図るもの。		
取組内容	<p>市内中学校2校に学校教育支援員(学校適応支援員から名称変更)を配置し、主に別室登校の児童生徒に対し、各種支援(学習支援、進路選択に関する支援等)を行った。</p> <p>【配置校】 釜石中、釜石東中 【配置人数】 各1名</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 支援員が常にいることにより教室以外の居場所として選択できるようになり、教室に入ることができない児童生徒にとって安心して登校できる環境となっている。</p> <p>また、これまでの教員定数では十分に対応できず負担増にもつながっていたが、支援員が対応することにより、教員の負担軽減につながった。</p> <p>【課題】 不登校や別室登校の児童生徒は増加傾向だが、現在の人数では必要としているすべての学校に対し十分な配置ができていない。増員するためには予算の確保が必要である。</p>		
評価結果	<p>■ 拡充(継続) □ 現状継続 □ 縮小(継続) □ 廃止(完了含む)</p> <p>※R6年度より1名増の3名体制で実施する。</p>		

事業名	中学校部活動地域移行	令和5年度 決算額	75,000円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	国や県の方針を受け、当市の部活動の現状を鑑み、中学校の部活動を地域スポーツ活動及び地域文化活動へ移行するための準備を行う。		
取組内容	<p>ワーキンググループでの協議、中学校長との意見交換、課内協議を経て、釜石市中学校部活動地域移行推進協議会を開催し、協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施 <p>中学校部活動における休日の地域移行に関する児童・生徒、並びに保護者の意向について実態把握をするため、令和5年7月11日(火)～21日(金)において実施した。</p> <p>対象は、小学校4年生から中学校3年生(全員)、小学校4年生から中学校3年生の保護者(任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動地域移行推進協議会の開催 <p>〔委員〕体育、芸術文化団体関係者、小中体育連盟代表(学校長)、 小中PTA代表</p> <p>第1回 令和5年7月28日(金) 第2回 令和5年12月5日(火) 第3回 令和6年2月5日(月)</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>市文化スポーツ部と連携のもと、「釜石市中学校部活動地域移行推進協議会」を設置し、推進に向けた協議を行うことができた。</p> <p>令和6年度は、部員数の少ない複数の学校の部活動が休日に合同で練習を行う取組、中学校に希望する部活動がない場合に他校の部活動に参加できる取組など、部活動の形態を残しつつ、地域移行を見据えた取組を行う方向性で進めることを確認することができた。</p> <p>【課題】</p> <p>休日の部活動の地域移行には、受け皿や指導者の確保、諸費用の負担など課題も多くあり、国の動向や先行実施する種目の状況などを踏まえながら、地域移行へ向けた取組を進める必要がある。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策3
実施施策

生涯学習・スポーツの振興

(1) 学びと実践が循環しつながりを出する生涯学習社会の形成

事業名	釜石市はたちのつどい開催事業	令和5年度 決算額	647,978 円
担当課	まちづくり課		
目的	成人の日を記念し、若者の門出を祝うとともに、市民及び市に縁のある者としての自覚を促し、社会人としての権利と義務・責任を全うできるよう激励の意味を込めて式典を開催するもの。		
取組内容	<p>年度内に20歳となる人を主体とした実行委員会形式により、特色のあるつどいを実行委員が自ら創り上げ、門出を祝う式典を開催した。</p> <p>〔時期〕 令和6年1月7日（日）14時～16時</p> <p>〔場所〕 釜石市民ホール TETTO</p> <p>〔対象〕 平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方</p> <p>〔参加者数〕 434人（対象者244人、一般来場者120人、主催者7人、来賓32人、従事者31人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典内で実行委員会制作のビデオメッセージ、中学校及び高校恩師からのビデオメッセージの上映、参加者有志による郷土芸能（虎舞）などを披露した。 ・釜石商工会議所青年部の協力を得てフォトスポットを2カ所に設置した。 ・釜石コンパスでの活動（対象者の高校時代の活動内容）を展示した。 ・対象者への記念品として、トートバックを贈呈した。（デザイン・制作：NPO法人遠野まごころネット まごころ就労支援センター） ・茶道協会の協力により、茶席の設置を行った。 		
取組による成果と課題	<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い、感染対策はしたものの、数年ぶりにほぼ平時の開催となり、約9割の対象者が参加した。</p> <p>また、本年度も式典の対象となる参加者を委員とした実行員会を組織し、式典内で実行委員制作によるビデオメッセージや中学校・高校時代の恩師ビデオメッセージの上映を行ったほか、参加者有志による郷土芸能の披露、市民憲章・防災市民憲章の唱和を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>式典が2時間に及んでいることから、今後も円滑な式典運営を心がけながら、毎年度組織する実行委員会と共に式典内容等の検討を行いたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	生涯学習によるまちづくり推進事業	令和5年度 決算額	328,596 円
担当課	まちづくり課		
目的	<p>市民と行政が共に釜石市の現状と課題、施策などを理解するとともに、主体的にまちづくりへの参画を促進するための意識の喚起、場を創出することが必要になることから、生涯学習に関する諸事業を実施するもの。</p>		
取組内容	<p>① こどもエコクラブ</p> <p>自然の中でのさまざまな体験を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育むことを目的に、小学生を対象に実施した。</p> <p>〔登録会員数〕 小学生 52 人</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 24 (土) / 水辺の生物観察会 / 橋野町横内川 / 小学生 33 人 ・ 7. 21 (金) / 夏の星空観察会 / 鉄の歴史館 / 小学生 45 人 ・ 9. 9 (土) / 昆虫観察会 / ※台風の影響により中止 ・ 11. 3 (金) / トレジャーハント(宝石探し)&ネイチャーゲーム / 旧釜石鉱山事務所 / 小学生 38 人 ・ 12. 9 (土) / 海の生物観察会 / 岩手大学釜石キャンパス / 小学生 38 人 ・ 3. 1 (金) / 冬の星空観察会 / ※降雪の影響により中止 <p>② 岩手大学生涯学習交流講座</p> <p>岩手大学との相互友好協力協定に基づき、生涯学習の基礎について改めて確認するとともに、「ひとづくり」「つながりづくり」への活動のヒントを参加者の交流を通じて探ることを目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11. 29 (水) / 岩手大学 / 9 人 <p>③ 立正大学デリバリーカレッジ</p> <p>市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとなるよう「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の機会を提供するため、オンラインで開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6. 3 (土) / メディアからの健康情報を見極める / 16 人 ・ 6. 10 (土) / 江戸時代の人口問題と環境 / 17 人 ・ 6. 17 (土) / 南極の自然と地球環境観測 / 18 人 <p>④ 生涯学習まちづくり出前講座</p> <p>生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題とその解決について考えることを目的として実施した。</p> <p><講座メニュー></p> <p>162 講座 (市によるもの 76 講座、関係機関によるもの 22 団体 86 講座)</p>		

	<p><実施回数及び受講者数></p> <table border="1" data-bbox="475 237 1329 387"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55回</td> <td>37回</td> <td>44回</td> <td>68回</td> <td>69回</td> </tr> <tr> <td>1,349人</td> <td>629人</td> <td>674人</td> <td>1,115人</td> <td>1,355人</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 生涯学習に関する情報を周知するため「広報かまいし」内に「まなびい釜石」のページを設け、年6回発行した。</p>	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	55回	37回	44回	68回	69回	1,349人	629人	674人	1,115人	1,355人
元年度	2年度	3年度	4年度	5年度												
55回	37回	44回	68回	69回												
1,349人	629人	674人	1,115人	1,355人												
<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <p>① こどもエコクラブ 定員を超える参加申し込みがあり、毎回の出席率も7割程度と高くなっており、この事業に対する関心の高さが伺える。今後も引き続き、環境に対して子どもたちが関心、興味を持てるような内容を継続して実施する。</p> <p>② 岩手大学生涯学習交流講座 岩手大学と連携し、関係職員や各種委員を主な対象として実施した。今年度は、高等教育機関である岩手大学に赴き、講義体験や施設見学を行うことで、当市の社会教育・生涯学習の抱える課題の一端を共有することができた。</p> <p>③ 立正大学デリバリーカレッジ 昨年度に引き続き、オンライン形式で開催した。講座終了後に行ったアンケートでは、内容に満足しているとの回答が多かった。</p> <p>④ 生涯学習まちづくり出前講座 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、令和4年度より申請数が回復傾向にある。特に小中学校から、農業体験や総合的な学習の時間を活用した申し込みが増加している。</p> <p>⑤ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 「広報かまいし」内にページを確保することにより、全世帯への情報提供が可能となっており、継続して実施する。</p> <p>【課題】</p> <p>① こどもエコクラブ 講座内容によっては、小学校低学年と高学年に分けて説明するなど、分かりやすい説明にするなどの配慮が必要である。</p> <p>② 岩手大学生涯学習交流講座 令和5年度は参加者が少数であったことから、岩手大学と連携した内容の検討や周知方法などを検討していく必要がある。</p> <p>③ 立正大学デリバリーカレッジ 参加者のアンケート結果を考慮した講座内容の検討や、若年層にアプローチする周知方法などを検討していく。</p> <p>④ 生涯学習まちづくり出前講座</p>															

	<p>利用者が固定化されていることから、今後も事業周及び利用促進のための広報活動を継続していく必要がある。</p> <p>⑤ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行</p> <p>「まなびい釜石」による情報提供に限定することなく、事業情報については、公民館だよりや市のホームページの活用を検討していく必要がある。</p>
評価結果	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	教育振興運動協議会活動補助金	令和5年度 決算額	200,000円
担当課	まちづくり課		
目的	地域の教育力向上と、子どもたちの生涯にわたって学び続ける意欲・態度を育成し、併せて大人自らの生涯学習機会となる教育振興運動の推進のため、釜石市教育振興運動協議会が行う事業に要する経費に対して補助金を交付するもの。		
取組内容	<p>各実践区（中学校区）において、5者（子ども、保護者、学校、地域、行政）がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して行う地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力向上を図るため、情報提供や情報交換、実践活動への補助等を行った。</p> <p>[活動内容] 協議会総会、集約集会、各実践区による活動、教振だよりの発行など</p> <p>[研修等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.7（水）／オンライン開催／釜石市から1人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム 7.4（火）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から27人 ・釜石市教育振興運動協議会集約集会（共催） 2.10（土）／釜石PIT／102人 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 全ての各実践区において全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組んだ他、あいさつ運動や交通安全、復興教育など地域の実情に応じて多様な活動をすることができた。また、今年度の集約集会においては、関東より講師を招き、「早寝早起き朝ごはん」の重要性に係る講演をいただき、重点目標に掲げる子どもの生活リズム向上「RHYTHM（リズム）プラン」の推進を図ることができた。</p> <p>【課題】 各実践区での活動が固定化されつつあることから、今後も子どもを中心とした地域ぐるみの教育活動が継続的に実践できるよう、教育振興運動と地域学校協働活動の連携の在り方について模索していく必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	放課後子ども教室推進事業	令和5年度 決算額	2,770,865 円
担当課	まちづくり課		
目的	子どもたちが安心して遊び学ぶことのできる教育環境を確保するため、放課後における子どもの活動拠点を設け、地域住民等の参画を得て、自由遊びの見守りのほか、多様な学習機会を提供するもの。		
取組内容	<p>〔時期〕 通年 〔対象〕 子ども、地域住民 〔教室名／場所／実施日〕</p> <p>① ばしょまえ交流館／釜石公民館／週2回（釜石小学校区） ② 小佐野放課後ひろば／小佐野公民館／隔週1回（小佐野小学校区） ③ 平田 MOSICA／平田復興住宅集会室／週1回（平田小学校区） ④ かっしっこひろば／甲子公民館／週1回（甲子小学校区） ⑤ 鶴住居子どもひろば／日向・新川原集会所、砂子畑集会所等／週3回（鶴住居・栗林小学校区）</p> <p>※ふたば放課後子供教室は、人員が確保できず休止 〔1回あたりの子どもの参加人数〕 9.3人</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、放課後子ども教室1回あたりの子どもの参加人数は回復傾向にあり、また、協働活動支援員の各校への周知等により、放課後子ども教室への理解浸透が図られている。</p> <p>【課題】 子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター（安全管理員）の確保が十分にできず、実施回数が減少したり、実施を見送った教室もあることから、様々な機会を活用し、放課後子ども教室の実施を周知するとともに、安全管理員の募集を行うことにより、活動のさらなる展開を図りたい。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	地域学校協働活動体制推進事業	令和5年度 決算額	4,357,114 円
担当課	まちづくり課		
目的	地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うもの。		
取組内容	<p>[本部設置校] 釜石小学校、双葉小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、鵜住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校、釜石中学校</p> <p>[活動回数] 9校 898回 [地域住民等の参画人数] 9校 延べ6,880人</p> <p>[研修等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.7（水）／オンライン開催／釜石市から1人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム／ 7.4（火）大船渡市立三陸公民館／釜石市から27人 ・学校と地域の連携・協働研修会 8.10（木）／県立生涯学習推進センター／釜石市から2人 ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修地区別講座 10.4（水）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から3人 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 令和4年度より市内全学区に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が設置されたことに併せ、地域学校協働本部を市内9校（小学校8校、中学校1校）に設置するに至った。 活動参画者数は横ばいであるものの、地域コーディネーターの連絡調整等によって、各本部で子どもたちに多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>【課題】 地域コーディネーターを確保できず、地域学校協働本部の設置に至らない学校があった。また、本部設置校においても活動内容等に差がある。今後、学校運営協議会の活動も本格化してくることから、地域コーディネーターの確保や地域コーディネーター同士の情報交換等を行うことにより、地域学校協働活動のさらなる推進を図りたい。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	図書館管理運営費	令和5年度 決算額	19,660,183 円																				
担当課	まちづくり課図書館																						
目的	市民の生涯学習の拠点として、読書活動の推進を図ることを目的に、図書資料の充実・整備や各種の図書館サービスの提供に努めるほか、図書館施設の適切な維持管理を行うもの。																						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石市立図書館協議会を年2回（6月・2月）開催した。 ・利用者の要望や地域の実情に考慮しながら、図書資料の整備に努めた。 ・利用者の学習活動を支援するため、企画展・巡回展（26回）を開催した。 ・としょかん映画会（14回）や、おはなし広場（12回）を開催した。 ・手づくり絵本教室の開催（2回）や、図書館報の発行（10回）を行った。 ・図書館子どもまつり（7月）や、図書館クリスマス会（12月）を開催した。 ・朗読会（戦争と平和について）（8月）、図書館市民教養講座（鉄の歴史）（12月）を開催した。 ・移動図書館車の正確な運行に努めた。（市内50箇所） ・絵本カーによる訪問（37回）や、市内小学校等への団体貸出を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、引き続き図書の除菌や館内の消毒などを行った。 ・館内水道管の部品交換など、適時必要な箇所の修繕を行った。 <p>【利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人数（人）</td> <td>23,209</td> <td>20,584</td> <td>20,794</td> <td>20,136</td> <td>20,796</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数（冊）</td> <td>87,954</td> <td>79,886</td> <td>82,389</td> <td>77,338</td> <td>80,364</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	利用人数（人）	23,209	20,584	20,794	20,136	20,796	貸出冊数（冊）	87,954	79,886	82,389	77,338	80,364
年 度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5																		
利用人数（人）	23,209	20,584	20,794	20,136	20,796																		
貸出冊数（冊）	87,954	79,886	82,389	77,338	80,364																		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>令和5年度における貸出の利用人数及び貸出冊数は令和4年度時と比較して、増加しており、イベントなどに来館する方も増えている。特に土日の来館者は1日で150人を超える日が多くあった。</p> <p>このことから、幼児から高齢者まで多世代が集う生涯学習の拠点として、図書館に対するニーズが向上しており、図書館機能の充実も図られていることが成果として現れている。</p> <p>今後も、利用者の幅広いニーズに対応し、適正な図書の整備や、市民の生涯学習拠点として施設の適正な維持を目指していく。</p> <p>【課題】</p> <p>なし</p>																						
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)																						

事業名	ブックスタート整備充実事業	令和5年度 決算額	157,701 円
担当課	まちづくり課図書館		
目的	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して向き合い、あたたかくて楽しいことばの交流を持つことができるよう、ブックスタート活動を行うもの。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進課が行う離乳食指導「もぐもぐごっくん教室」（生後5～6ヵ月児対象）に併せて、ブックスタート事業を実施した。図書館が「赤ちゃんの駅」認定施設であることを説明し、ブックスタートガイドブックと図書館利用案内の配布を行った後、ボランティア団体「颯・2000」による乳幼児向けの絵本の紹介を兼ねた読み聞かせの実演を行った。（11回、乳児38人） 健康推進課が行う「6ヵ月児健診」に併せて、ブックスタート事業を実施した。6ヵ月児健診の赤ちゃんに絵本1冊を贈呈した。（12回、乳児121人） 図書館のブックスタートコーナーの床マットを新装するとともに、読み聞かせボランティアのおすすめ絵本の展示・貸出をするなど、子育て世代が利用しやすく、かつ過ごしやすい環境づくりを行った。 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 会場内で読み聞かせの実演を行うことで、本や読み聞かせに興味を持っていたただく機会となっており、参加した保護者にも好評である。</p> <p>開催後は、図書館のブックスタートコーナーの利用を目的に来館される子育て世代の親子連れが近年増加しており、図書館の利用に反映されると同時に、子どもの教育支援にも貢献することができた。</p> <p>【課題】 なし</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策3
実施施策

生涯学習・スポーツの振興

(2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

事業名	学校体育施設開放事業	令和5年度 決算額	885,360 円												
担当課	教育委員会事務局総務課														
目的	地域住民のスポーツ活動等の場の確保を図るため、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放するもの。														
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開放校 12校（釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、栗林小学校、釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校） ・利用団体及び利用人数（延べ人数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>利用団体数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>823 団体</td> <td>37,155 人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>831 団体</td> <td>38,392 人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>743 団体</td> <td>37,103 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	利用団体数	利用者数	令和5年度	823 団体	37,155 人	令和4年度	831 団体	38,392 人	令和3年度	743 団体	37,103 人
年 度	利用団体数	利用者数													
令和5年度	823 団体	37,155 人													
令和4年度	831 団体	38,392 人													
令和3年度	743 団体	37,103 人													
取組による 成果と課題	<p>【成果】 開放校との連携・協力により市民がスポーツ活動等に気軽に取り組める場所や機会を広く提供することができた。今後も本事業の目的を達成できるよう実施していく。</p> <p>【課題】 一部利用団体が施設破損を報告しないなど、施設使用に関してのマナー違反がある。</p>														
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)														

基本施策 4
実施施策

歴史・文化・芸術文化の振興

(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

事業名	埋蔵文化財保存事業	令和 5 年度 決算額	7,656,126 円
担当課	文化振興課		
目的	埋蔵文化財の適切な保護・保存・活用に向けた調査を実施するもの。		
取組内容	<p>市内各地の各種開発が遅滞なく進むよう、開発行為に伴う試掘調査や立会調査を実施した。分布調査については、平成 13 年度から市内の遺跡の詳細分布調査を継続実施し、平成 20 年度からは市内の遺跡を時代別に分けて分布調査を実施し、遺跡の内容把握に努めている。</p> <p>令和 5 年度からは、5 か年計画で市内全遺跡の現状把握を実施しており、令和 5 年度は尾崎半島及び栗林町の山林の分布調査を行った。また、釜石市郷土資料館にて「太田林遺跡 速報展」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財照会：68 件（102 ヶ所） ・試掘調査：2 件 太田林遺跡（令和 5 年 7 月 18・19 日）、向定内遺跡（令和 6 年 3 月 7 日） ・立会調査：4 件 外山遺跡、フッタ沢遺跡、中須賀遺跡、金子沢遺跡 ・慎重工事：14 件 ・分布調査：尾崎半島、栗林町の山林 ・その他：遺物実測（郷土資料館所蔵資料） ・《郷土資料館企画展》ミニ展示「太田林遺跡 速報展」 期間：令和 6 年 3 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 場所：釜石市郷土資料館 来館者 178 人 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度の埋蔵文化財の分布調査及び試掘調査、立会調査等の調査業務は滞りなく終了した。 ・ミニ展示では開催期間中の来館者が 178 人であり、文化財の普及啓発に寄与することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、風水害の影響で女坂の一里塚や石塚峠の七里塚、平田塚群などといった地上に露出する遺跡の損傷が懸念されるため、保存方法を検討する必要がある。 		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	文化財保護事業	令和5年度 決算額	1,379,679 円
担当課	文化振興課		
目的	釜石市に所在する文化財の適正な保護と活用を図るもの。		
取組内容	<p>文化財の適正な保護・活用を図るため、釜石市文化財保護審議会を開催するとともに、市文化財指定を行った。また、市内文化財の保存・周知を図るため、文化財パトロールや説明板の作成・整備等を行った。</p> <p>○釜石市文化財保護審議会の開催 3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和5年6月28日（水） 内 容：①令和4年度文化財保護と活用事業の実施状況について ②令和5年度文化財保護と活用事業の計画について ③令和5年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて ④その他（文化財パトロールの実施について、第26回釜石市郷土芸能祭の開催について、釜石市文化財保存活用地域計画作成作業の進捗状況について） ・第2回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和5年12月6日（水） 内 容：①令和5年度釜石市文化財指定推進物件について ②第26回釜石市郷土芸能祭について ③釜石市文化財保存活用地域計画作成作業の進捗状況について ④その他（釜石市文化財指定推進物件の現状、指定候補に追加された物件、指定候補から除外された物件、今後追加すべき物件について） ・第3回釜石市文化財保護審議会 開催日：令和6年3月26日（火） 内 容：①釜石市文化財保存活用地域計画について ②釜石市指定文化財に係る諮問について ③釜石指定文化財推進物件について ④その他（郷土芸能祭の結果について、有形文化財公開事業の開催日程について） ・文化財パトロール（文化財保護審議会） 開催日：令和5年12月15日（金） 場 所：指定文化財候補物件調査（栗林町大沢沢） 大沢川流域の古生界化石産出露頭群（千丈ヶ滝層、小川層、栗林層） 		

	<p>○文化財調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和山のシナノキ：令和5年4月19日（水） ・甲子川の釜石：令和5年5月24日（水） ・中仙人の茶屋跡・石槽（石船）：令和5年6月6日（水） ・唐丹町荒川追分地蔵：令和5年10月2日（月） ・尾崎神社奥宮：令和5年11月7日（火） <p>○文化財の指定</p> <p>指定文化財：天然記念物「大沢川流域の古生界化石産出露頭群」</p> <p>指定年月日：令和6年3月27日</p> <p>所在地：栗林町</p> <p>○案内看板等の整備 8カ所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板新設：鶴住居観音堂・甲子川の釜石（作成はR4年度） ・案内看板作成：女遊部のトチノキ、大沢川流域の古生界化石産出露頭群（設置はR6年度に予定） ・標柱作成：大沢川流域の古生界化石産出露頭群の千丈ヶ滝層、小川層、栗林層（各1基×3件）
<p>取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会においては活発な意見交換がなされ、「大沢川流域の古生界化石産出露頭群」が新たに市指定文化財となった。 ・文化財パトロールでは指定文化財候補物件や文化財の現況を確認した。 ・文化財案内看板の新設や既存の看板の更新作業を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財指定候補物件の調査に時間を要しており、調査方法を検討する必要がある。 ・老朽化した看板や標柱が多く更新が必要な状態にある。
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	釜石市郷土芸能祭開催事業	令和5年度 決算額	1,073,149 円
担当課	文化振興課		
目的	郷土芸能を後世に継承するため、郷土芸能団体の発表機会や市民が郷土芸能に触れる機会を創出する。		
取組内容	<p>第26回釜石市郷土芸能祭を次のとおり開催した。</p> <p>①開催事業 第26回釜石市郷土芸能祭</p> <p>②主催 釜石市、釜石市教育委員会</p> <p>③後援 一戸町教育委員会、三陸ブロードネット株式会社、三陸国際芸術推進委員会</p> <p>④開催日時 令和6年2月4日（日） 開場：9時30分 開演：10時00分 閉会：14時30分</p> <p>⑤場所 釜石市民ホール TETTO ホールA</p> <p>⑥入場料 無料</p> <p>⑦出演団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内団体（8団体） 八雲神楽・小川しし踊り（市指定）・松倉太神楽・桜舞太鼓・神ノ沢鹿踊（市指定）・丹内神楽（市指定）・両石虎舞（市指定）・南部藩壽松院年行司支配太神楽（県指定） ・市外団体（1団体） 一戸の山伏神楽～高屋敷神楽～（県指定）一戸町 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上述の市内郷土芸能団体8団体に発表の機会を創出した。 ・来場数：700人 市民や市外からの来場者に、郷土芸能に触れる機会を創出した。 ・郷土芸能の映像記録による記録保存を行った。 <p>【課題】</p> <p>少子高齢化によって存続の危ぶまれる郷土芸能団体が増えており、継承活動の方法を検討する必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	歴史はっけん事業	令和5年度 決算額	3,095,337 円
担当課	文化振興課		
目的	<p>釜石の歴史文化の保存・活用を図るため、市内に埋もれた歴史や文化財を再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、まちづくりに活用する。また、これらを計画的に進めるため、釜石市文化財保存活用地域計画の作成を目指すもの。</p>		
取組内容	<p>釜石市文化財保存活用地域計画の作成に係る協議会や調査、議会への説明、教育委員会への説明等を行った。令和6年7月には文化庁長官から釜石市文化財保存活用地域計画の認定を受ける予定となっている。また、市内文化財の調査及び文化財目録の作成、古文書調査等も併せて行った。</p> <p>○釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和5年5月31日（水） 内容：①釜石市文化財保存活用地域計画の進捗状況について ②釜石市文化財保存活用地域計画の骨子と内容について ③その他（文化財の保存と活用に関する措置） ・第3回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和5年8月25日（金） 内容：①釜石市文化財保存活用地域計画の進捗状況について ②釜石市文化財保存活用地域計画の骨子と内容について ③その他（内容の検討） ・第4回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和5年11月1日（水） 内容：①釜石市文化財保存活用地域計画の進捗状況について ②釜石市文化財保存活用地域計画の素案について ③釜石市文化財保存活用地域計画の内容の検討について ・第5回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和5年12月5日（火） 内容：①文化財保存活用地域計画の進捗状況について ②第4回協議会における指摘事項について ③釜石市文化財保存活用地域計画の内容について ・第6回釜石市文化財保存活用地域計画協議会 開催日：令和6年3月1日（金） 内容：①文化財保存活用地域計画の進捗状況について ②第5回協議会における指摘事項について 		

	<p style="text-align: center;">③釜石市文化財保存活用地域計画の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○釜石市文化財保存活用地域計画ワーキンググループ 開催日：令和5年7月6日（木） ○釜石市文化財保存活用地域計画に係る個別協議 <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷会長協議：令和5年8月25日（金） ・熊谷会長協議：令和5年10月27日（金） ・小野寺委員協議：令和5年12月2日（土） ○文化庁協議 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回文化庁協議：令和5年6月12日（月） ・第4回文化庁協議：令和5年9月5・6日（火・水）（釜石市内視察） ・第5回文化庁協議：令和5年10月23日（月） ・第6回文化庁協議：令和5年11月27日（月） ・素案内容確認：令和5年12月7日（木） ・第7回文化庁協議：令和6年1月16日（火） ○庁内協議 庁議2回の他、関係部署への確認を実施 ○釜石市議会全員協議会 開催日：令和6年1月25日（木） 内容：釜石市文化財保存活用地域計画の説明 ○パブリックコメント 開催期間：令和6年1月25日～2月26日 ○古文書調査 時期：通年 内容：野田家文書のデジタルアーカイブ化作業 対象：野田家所有の古文書 ○文化財目録の作成 時期：通年 内容：市内に所在する文化財等の目録作成 ○市内文化財の調査（三浦家所有文化財） 時期：令和5年7月～ 内容：三浦家所有の文化財調査
<p style="text-align: center;">取組による 成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○釜石市文化財保存活用地域計画の作成について <ul style="list-style-type: none"> ・第6回釜石市文化財保存活用地域計画協議会にて計画の文化庁提出について承認を得た。 ・釜石市議会全員協議会にて一部修正を求められたが、釜石市文化財保存活用地域計画全体については了承を得た。 ・パブリックコメントにおいては、特に指摘事項はなかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年7月に文化庁長官からの認定を受ける見通しが立った。 <p>○文化財等調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野田家文書の調査 進捗率3分の2完了 ほか <p>【課題】</p> <p>釜石市文化財保存活用地域計画を作成するにあたり、過去に収集された資料の精査を行ったが、釜石市の歴史文化を保存・活用するうえで必要な資料に偏りがあることから、引き続き歴史文化に関する調査を行う必要がある。</p> <p>引き続き調査を実施するためには相当の時間や専門的知識が必要となることから、大学や博物館といった学術研究機関や市民との協力体制を強化する必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	鉄づくり体験事業	令和5年度 決算額	2,010,000 円
担当課	文化振興課		
目的	鉄に関する歴史や技術を学ぶため、鉄づくり体験等とおして郷土への関心を高め、アイデンティティの醸成に寄与するもの。		
取組内容	<p>○鉄づくり体験（市内全中学校（5校）1年生：172人）</p> <p>洋式高炉を模したミニ炉を作成し、たたら製鐵の技法で鉄づくりに取り組んでいる。市内の子どもたちが義務教育の間に、1度は鉄を通じたモノづくりの機会に触れる機会を創出するため、令和4年度から市内中学一年生を対象に全中学校5校で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石東中学校 23人 令和5年7月5・6日（水・木） ・釜石中学校 82人 令和5年8月30・31日（水・木） ・大平中学校 19人 令和5年8月30・31日（水・木） ・甲子中学校 41人 令和5年9月14・15日（木・金） ・唐丹中学校 7人 令和5年9月26・27日（火・水） <p>○鉄に関する座学等（中学一年生）</p> <p>市内各小中校の要望により、世界遺産課と協力して座学や見学（体験）などを実施した。</p> <p>甲子中学校、釜石東中学校、釜石中学校、唐丹中学校</p> <p>○国史跡橋野高炉跡の見学</p> <p>甲子中学校</p> <p>○鉄の検定</p> <p>近代製鉄発祥の地である「釜石」の生活に身近な鉄に関する疑問や、鉄の魅力などを、検定形式で周知し郷土釜石を知るきっかけを作るため実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般 開催日時：令和5年12月1日（金）18時～ 参加者数：8名 ・小中学生 開催日：12月1日の前後一週間 参加者：双葉小学校（4・5・6年生）5名 平田小学校（5・6年生）14名 釜石中学校 79名 2級6名 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市内の中学1年生全員が鉄づくり体験を経験し、釜石の鉄の歴史を体感することができた。 ・座学による鉄の学習や国史跡橋野高炉跡の見学、鉄の検定を通じて、釜石の 		

	<p>鉄の歴史を学習し、アイデンティティの醸成に寄与した。</p> <p>《鉄の検定表彰者》</p> <p>小学生の部 3名 1級2名、2級1名（1～3位各1名）</p> <p>中学生の部 6名 2級6名（1位同点2名・3位同点2名）</p> <p>一般の部 5名 2級1名（1位）と級認定無（2・3位）</p> <p>【課題】</p> <p>鉄に関する体験や学習を継続して実施し、より効果的で効率的な郷土学習の在り方と実施の体制を整備していく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)</p>

事業名	屋形貝塚保存活用事業	令和5年度 決算額	6,660,493 円
担当課	文化振興課		
目的	国史跡 屋形遺跡を保存活用するもの。		
取組内容	<p>国史跡屋形遺跡は、令和3年3月に縄文時代中期中葉から後期初頭にかけての三陸の集落構造、生業の様相を理解するうえで重要であるとして国史跡に指定された。史跡の整備及び保存活用の方法について協議が進められているが、遺跡の詳細な内容の把握や集落構造の全容解明のための継続した範囲内容確認調査が求められている。今後開催予定の整備検討委員会において今後の整備計画、調査計画を取りまとめる。</p> <p>令和5年度は、屋形遺跡隣接地の東側斜面とヨサシリ遺跡の中間地点の分布調査や検土杖による堆積土の調査のほか、発掘調査で出土した遺物の実測作業、貝塚土壌洗浄作業及び自然遺物の分類作業といった整理作業を行った。</p> <p>また、屋形遺跡を学びの場として活用するため、出前講座や見学会等を実施する予定であったが、諸事情により実施できなかった。</p>		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺物実測委託業務 土器 18 点(内完形土器 2 点を含む)、石器 24 点 計 42 点 本資料は令和7年度に刊行予定である範囲内容確認調査報告書に掲載する。 ・整理作業業務 貝層洗浄および選別作業(約 30 kg) 主要な出土遺物：骨角器(骨ヘラ・釣り針)、魚骨(マダイ・マグロ等)、鳥骨(ヤマドリ等) ・活用について 屋形遺跡の発掘調査体験ができるよう唐丹中学校と調整を進めていたが、山谷木炭積出場の見学を実施したため、令和6年度は見送りとなった。令和6年度に改めて実施できるように学校と調整する予定である。 <p>【課題】</p> <p>令和5年度は調整不足により見学等の活用が振るわなかった。地元の唐丹小中学校をはじめ、周知活動を行い、活用につなげられるようにする。また、公民館事業などで見学者を増やせるよう看板などの整備を行う必要がある。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

基本施策 4
実施施策

歴史・文化・芸術文化の振興

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

事業名	橋野高炉跡整備事業	令和 5 年度 決算額	21,206,252 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成 27 年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成 30 年 3 月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、調査、公開を実施するもの。		
取組内容	<p>橋野高炉跡史跡整備検討委員会を開催するとともに、三番高炉ブロック西側の長屋跡の発掘調査、三番高炉南側の石垣の補足調査、水路に架かっていた橋の試掘調査、採掘場跡の北側の測量を実施した。</p> <p>令和 2 年に調査を実施した二番高炉北エリア（鍛冶長屋跡、大工長屋跡、種砕水車場跡、長屋跡）の発掘調査報告書を刊行した。</p>		
取組による成果と課題	<p>【成果】 発掘調査の結果、高炉絵巻に描かれたと考えられる長屋跡を確認した。現地説明会や速報展などで史跡の重要性や調査の意義を広く周知した。</p> <p>【課題】 文化庁の補助事業費採択率が約 1/2 のため、計画に遅れが生じている。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	橋野高炉跡修復・公開活用事業	令和5年度 決算額	12,306,051 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成30年3月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、整備を実施するもの。		
取組内容	高炉場跡、二番高炉ブロックの長屋跡石垣及び種砕水車場南側水路石垣の修復工事を実施した。 あわせて、令和4年に修復した二番高炉西側水路石垣の石材カルテを作成した。		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 石垣修復工事により安全で快適な見学環境が整備できた。 修復前と修復後の測量及び石材カルテの作成により、遺構の履歴を記録保存ができた。</p> <p>【課題】 真正性を担保するため抜本的な修復ではないことから経過観測が必要である。文化庁の補助事業費採択率が約1/2のため、計画に遅れが生じている。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	旧釜石鉱山事務所維持管理費	令和5年度 決算額	2,208,695 円 ※人件費を除く												
担当課	世界遺産課														
目的	国登録有形文化財の旧釜石鉱山事務所の適切な維持管理を行うもの。														
取組内容	<p>施設の適切な管理運営を行ったほか、イベント及び企画展を開催した。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み特別企画「鉱山（やま）の宝探し」（鉱石採集イベント） 岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作った。 開催日：7月29日 参加者：21人 鉄の週間企画展「いわての国登録有形文化財」 旧釜石鉱山事務所の国登録有形文化財登録10周年記念し、県内の国登録有形文化財を紹介。 期間：11月17日～12月8日 期間中入館者：69人 <p>【来場者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,088人</td> <td>867人</td> <td>949人</td> <td>789人</td> <td>1,150人</td> <td>1,277人</td> </tr> </tbody> </table>			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	1,088人	867人	949人	789人	1,150人	1,277人
H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度										
1,088人	867人	949人	789人	1,150人	1,277人										
取組による 成果と課題	<p>【成果】 令和5年度は開館以来、過去最高の来館者数となった。</p> <p>【課題】 施設の老朽化に伴う修繕料等の維持管理費の増加及び、年々増額となる人件費に対して、収入が極めて少ない。</p>														
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)														

事業名	橋野鉄鉱山事業	令和5年度 決算額	6,592,995 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用に向けた取り組みを行う。		
取組内容	<p>《事業内容》</p> <p>○市主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの橋野鉄鉱山 <ul style="list-style-type: none"> 一・二番高炉周辺の水路の草刈りを実施。 講演：三浦命助と大島高任、6月3日の意味するもの 講師：森 一欽（市 世界遺産課） ・橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育樹祭ウォーキング <ul style="list-style-type: none"> 大森沢林道・クル沢林道のウォーキング（共催：三陸中部森林管理署） 実施日：10月21日 参加人数：3人 ・橋野鉄鉱山見学会 <ul style="list-style-type: none"> 非公開の運搬炉跡・採掘場跡の公開を実施。 実施日：11月3日 参加人数：12人 <p>○「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年に世界遺産登録10周年迎えるためプロモーション事業を実施。 ・「明治日本の産業革命遺産」フォトコンテスト ・ミステリー小説の公開 <p>○岩手県主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3つの世界遺産連絡協議会」「岩手県観光プロモーション室」と連携事業を実施。 ・いわて世界遺産まつり in 橋野鉄鉱山 ・ビストロわんこ 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】</p> <p>広域の取り組みを行ったことで、関係機関との連携が深まった。</p> <p>【課題】</p> <p>世界遺産関連施設の来館者数は、コロナ禍以来伸び悩んでいる。世界遺産登録10周年を契機として、さらなるプロモーションを行いたい。</p>		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

事業名	旧釜石鉱山事務所国登録有形文化財登録 10 周年記念事業	令和 5 年度 決算額	10,000,900 円
担当課	世界遺産課		
目的	旧釜石鉱山事務所は、日本最大の鉄鉱山である釜石鉱山の歴史を後世に伝えるためのインフォメーション施設である。建物の価値を広く周知していくため、平成 25 年「国登録有形文化財（建造物）」へ登録された。令和 5 年度は登録 10 周年であることから記念事業を実施するもの。		
取組内容	<p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜石鉱山デジタルデータ作成（NTT 協賛事業） 釜石鉱山坑道・旧釜石鉱山事務所施設内 VR 作成 大橋社宅街デジタルアーカイブ公開 ナウマンの地質図レプリカ作成 釜石鉱山フォトコンテスト 募集期間：7 月 15 日～10 月 30 日 応募総数：30 点 旧釜石鉱山事務所愛称募集 募集期間：8 月 31 日～10 月 31 日 応募総数：6 点 		
取組による 成果と課題	<p>【成果】 国登録有形文化財登録 10 周年として様々な事業を展開し、来館者数が増加した。</p> <p>【課題】 デジタルデータの Web 公開にあたり、サーバーが無料で使用できる期間が 4 年間である。無料期間中に Web 公開の費用対効果を確認しながら、施設の利用促進を図りたい。</p>		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充(継続) <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 縮小(継続) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止(完了含む)		

「令和5年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、4つの基本施策、その施策に係る6つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

1 開催日時 令和6年7月29日（月）10時から12時20分まで

2 会 場 市役所第4庁舎3階 教育委員会 会議室

3 委 員 市村 かおりさん（釜石市小中学校長会会長）
谷澤 栄一さん（釜石まちづくり株式会社代表取締役）
小笠原 慎二さん（釜石市PTA連合会会長）
山崎 鮎子さん（音楽家）

4 意見の聴取方法

担当課においてあらかじめ事業の自己評価を行い、二次評価として学識経験者から評価の妥当性について判断していただいた。

5 意見の概要

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ○「いのちの教育」の推進・実践 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは日頃から YouTube やネットで見たり、講演やワークショップなどを通じて情報をたくさん持っている。 ・「実際にこういうことがあって私は命を助けられたので、命が大切だ」という実体験の話子どもたちに訴えかける内容にすれば、いのちの教育に関する理解が進むのではないか。 ・「防災教育・復興教育推進事業」にも防災や災害への備えなどが含まれているので、県の補助金がなくなったときには、継続させるためにこちらに統合させてはどうか。中身が似ているので、防災以外のところでこころのケアができるようなものを入れれば今後につながってくるのではないか。 ○外国語指導助手（ALT）設置事業 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対して小さいころからの慣れが必要である。「拡充」には賛成である。継続的にやっていただければありがたい。 ○防災教育・復興教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の手引きが昨年完成し、それを基に、先生たちが津波や地震だけではなく、土砂災害や別の災害についてもしっかりと指導して、自分の命は自分で守るということを認識して取り組んでいる。釜石市の防災教育の取り組みは誇れるものであり、先生たちは自信をもって取り組んでいる。 ○ICT活用教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・先生とZOOMを行う際などに、自宅ではうまくネット接続できなかったという話を聞いたことがある。操作方法の理解が進んでいないと感じた。 ・授業参観でタブレットと黒板との併用の仕方が難しく、子どもたちのタブレット操作の理解にも個人差があるようだ。子どもたち全員の状況を管理することは大変だと思う。内容を理解しないうちに授業が進んでしまうこと
------	---

	や、家庭に持ち帰ってきてしまうこともあるので、もう少しスムーズに利用できるよう望みたい。
--	--

基本施策2 子どもを育む環境づくり

(1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

(2)教育環境の充実とさらなる向上

主な意見	<p>○学校給食センター運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターの残量調査の課題で、「児童生徒の嗜好を考慮しながら調理方法や味付け等をさらに検討していく。」とあるが、残量調査のあとに味付けを変えるなどして、結果は良くなっただろうか。給食はすごくありがたいと思っているし、子どもたちにいっぱい食べてほしい。残ってしまうことで予算が無駄になると思うので、残量が発生しない味付け等を検討してほしい。 <p>○学校空調整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の時間には、歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりしているので、エアコンが必要であると感じている。優先的に音楽室への設置をお願いしたい。 ・エアコンについては命にも係わることなので、しっかり設置してほしい。 <p>○地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードは年配の方が多い。 ・子どもたちの安全を守るために必要であるし、雨が降ると落石したりすることから、危ないところを見て回ることも大事なことだと思う。しっかりやっていただきたい。 <p>○特別支援教育支援員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童生徒に対しての支援は、保護者の意見を聞くといろいろな問題もあるようなので、しっかりケアしていけるようになってほしい。 ・保護者は、支援員の勤務日程がわからないとも聞く。保護者に対して勤務日程等について周知する必要がある。 <p>○学校適応支援員配置事業・特別支援員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員を学校適応支援員に回していただけるような、学校が使いやすいような支援員さんを準備していただいたほうが、学校側としては助かるのではないか。 <p>○教材備品等管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい楽器はいいと思うが、これだけ生徒も減って各校に使われていない楽器もたくさんあると思う。市内、管内で貸与の仕組みを作って有効活用してほしい。 <p>○中学校部活動地域移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すでに受け皿としての移行の準備ができている種目もある。学校や教育委員会の考えもあるので、実際に移行はしていないものの、許可制や申請制にしていただければありがたい。地域の皆さんにできるところから任せてみて
------	---

	もよいのではないか。
--	------------

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

- (1) 学びと実践が循環しつながりをつくり出す生涯学習社会の形成
- (2) 豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進

主な意見	<p>○釜石市はたちのつどい開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがすごく頑張って準備をしていて感動するところがたくさんあり、すごくいい時間だと思っている。ビデオメッセージについて、先生の思い入れが強いのか長い印象がある。各校の時間制限をしてはどうか。 <p>○図書館管理運営費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、学校で図書ボランティアがあった。図書館と学校図書館のボランティアが連携することはできないか。今後生徒数が減少していくなか、図書ボランティアを確保できない学校もあるだろうが、支援していけるような体制を取っていただきたい。 <p>○学校体育施設開放事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してほしい。 ・市の財政も厳しいと聞いている。継続するためには施設の維持管理費として有料化も必要ではないか。
------	--

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

- (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進
- (2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

主な意見	<p>○釜石市郷土芸能祭開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T E T T Oで行われているが、釜石まつりとの併催はできないのか。北上の芸能祭は屋外の開催で観客が多く、踊り手としてモチベーションが上がる。多くの人に見ていただける機会を増やすという意味で、今後実施方法を検討していただきたい。 <p>○鉄づくり体験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもころ、製鉄所の構内を見学してものすごいインパクトを受けて感動した。小学生に構内見学を体験させてみてはどうか。小さい頃にそういう感動があると鉄に関しても関心を持つし、文化財や鉄の歴史への関心にもつながると思う。鉄の教育を、古いところだけではなく現在の技術も切り口にしてやっていただきたい。 <p>○屋形貝塚保存活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学会を諸事情により実施できなかったとあるが、釜石全体の文化財であり、他の地区の子が別の地区に見学に行くとか、子どもたちに広く釜石市全体を見てもらおう授業等もあってもいいのではないか。
------	---

6 その他（全般を通しての意見）

・学校の中で悩まれている先生がたくさんいると思うので、こころのケアをお願いしたい。先生方が元気でないといけないと思う。学校に、不登校の子どもも含めて来たくくなるようなかたちでの管理職の教育や、先生方のコミュニケーションツールを作るカリキュラムが必要なのではないか。

校長先生や副校長先生が抱える案件がすごく多いと思うので、学校の中だけではなく、教育委員会もしくはそれを飛び越えたところで、相談をしながら疲弊しないようにしてほしい。先生の健康がまさに子どもたちの健康につながると思っているので、沢山ケアをしてお金をかけていただきたい。

・施設の維持にお金がかかるので入館料というものがあると思う。入館者に対して還元していくような形をとってもらえればよい。入館料が高いとか安いではなくて、取るべきものは取ってほしい。

